

◆ 大田区 ◆

# 中小企業の景況

平成24年1月～3月期



## 目 次

平成24年1月～3月期の都内中小企業の景況……………	1
大田区 今期の特徴点……………	2
製 造 業……………	3
小 売 業……………	9
日銀短観……………	14
東京都と大田区の企業倒産動向……………	14
特別調査「平成24年度の経営見通し」……………	15
中小企業景況調査 比較表・転記表……………	19

大田区産業経済部産業振興課

調査実施機関 株式会社東京商工リサーチ

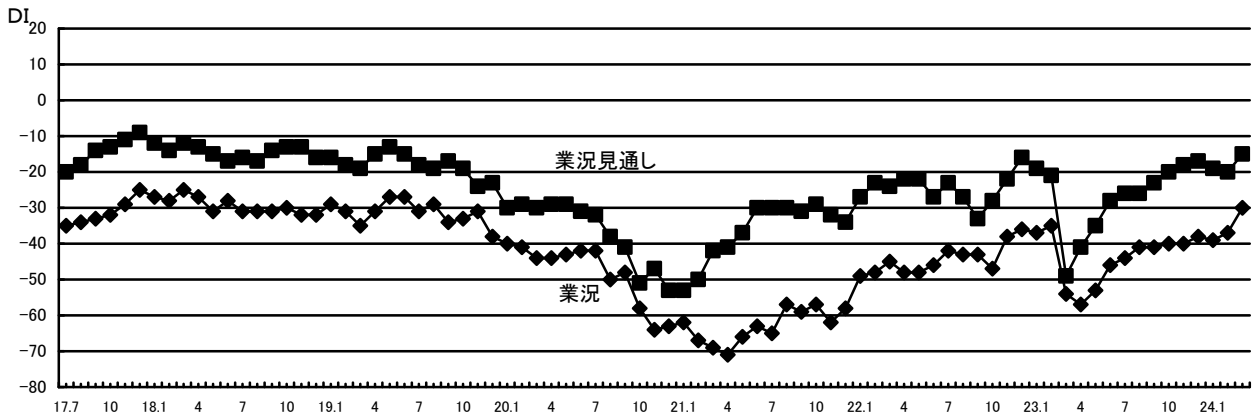


# 平成24年1月～3月期の都内中小企業の景況

**業況：小売業を除き大きく改善**

**見通し：小売業は特に大きく改善、その他の業種もかなり改善する見込み**

## 都内中小企業の景況



業況DI（季節調整済、「良い」企業割合－「悪い」企業割合）は-30（前期は-38）と前期比で8ポイント改善した。今後3か月の見通しでは大きく改善すると見込まれている。

	前期(23.12)	今期(24.3)	増減	今後3か月の見通し
製造業	-32	-20	12	-14
卸売業	-42	-35	7	-16
小売業	-50	-51	-1	-19
サービス業	-32	-19	13	-12
総合	-38	-30	8	-15

3月の都内中小企業の業況DI（業況が「良い」とした企業割合－「悪い」とした企業割合）は前期比8ポイント増の▲30と、かなり改善している。今後3か月間（4～6月）の業況見通しDIでは、今期比15ポイント増の▲15と、大きく改善すると見込まれている。

都内中小企業の業況DIを業種別にみると、サービス業（▲19）は13ポイント増、製造業（▲20）は12ポイント増、卸売業（▲35）は7ポイント増といずれも大きく持ち直した。小売業（▲51）は前期並の悪化幅が続いている。なお、仕入価格DI（仕入単価が「上昇」とした企業割合－「低下」とした企業割合）をみると、製造業（16）は4ポイント増とやや上昇を強め、卸売業（7）は1ポイント減と前期並の上昇幅で推移し、小売業（▲3）は8ポイント減と大きく上昇から下降へと転じた。一方、販売価格DI（販売単価が「上昇」とした企業割合－「低下」とした企業割合）は、製造業（▲7）は前期並の下降で推移、卸売業（▲1）も変動なく推移した。小売業（▲10）は5ポイント減と下降幅が若干拡大した。サービス業（▲9）は6ポイント増とかなり下降幅が縮小した。

今後3か月（4～6月）の業況見通しDIを業種別にみると、製造業（▲14）は6ポイント増、卸売業（▲16）は19ポイント増、サービス業（▲12）は7ポイント増といずれもかなり厳しさが和らぎ、小売業（▲19）は32ポイント増と特に大きく改善が見込まれている。

### 【注】

○D. I (Diffusion Indexの略)

D. I (ディーアイ) は、増加（又は「上昇」「楽」など）したと答えた企業割合から、減少（又は「下降」「苦しい」など）したと答えた企業割合を差引いた数値のことで、不変部分を除いて増加したとする企業と減少したとする企業のどちらかの力が強いかを比べて時系列的に傾向をみようとするものです。

○（季節済）D. I

季節済とは、各期ごとに季節的な変動を繰り返すD. Iを過去5年間まで遡って季節的な変動を除去して加工したD. I値です。修正値ともいいます。

○傾向値

傾向値は、季節変動の大きな業種（例えば小売業）ほど有効で、過去の推移を一層なめらかにして景気の方角をみる方法です。

# 大田区 今期の特徴点 (平成24年1月～3月期)

景気予報						
大きく上昇	上昇	やや上昇	横這い	やや下降	下降	大きく下降

## 製造業



製造業の業況は、今期△26と前期並の厳しさが続いた。売上額は△15とわずかに減少を強め、収益は△18と減少に大きく歯止めがかかった。価格動向を見ると、原材料価格は38と上昇がかなり強まり、販売価格は△21と前期同様の基調で推移した。在庫は13と荷もたれ感が多少強まり、資金繰りは△20と大きく改善した。

業況が前期並の厳しさが続いた要因としては、収益では回復の兆しが見られつつも、「売上額が幾分低迷」「販売価格が前期並の下降傾向が続いた」に見られる売上の低迷と、「原材料価格の上昇幅が大きく拡大」が懸念材料になったと考えられる。経営上の問題点でも「利幅の縮小」は前期より若干減少したものの、「売上の停滞・減少」「同業者間の競争の激化」などでは大きな動きが見られなかった。

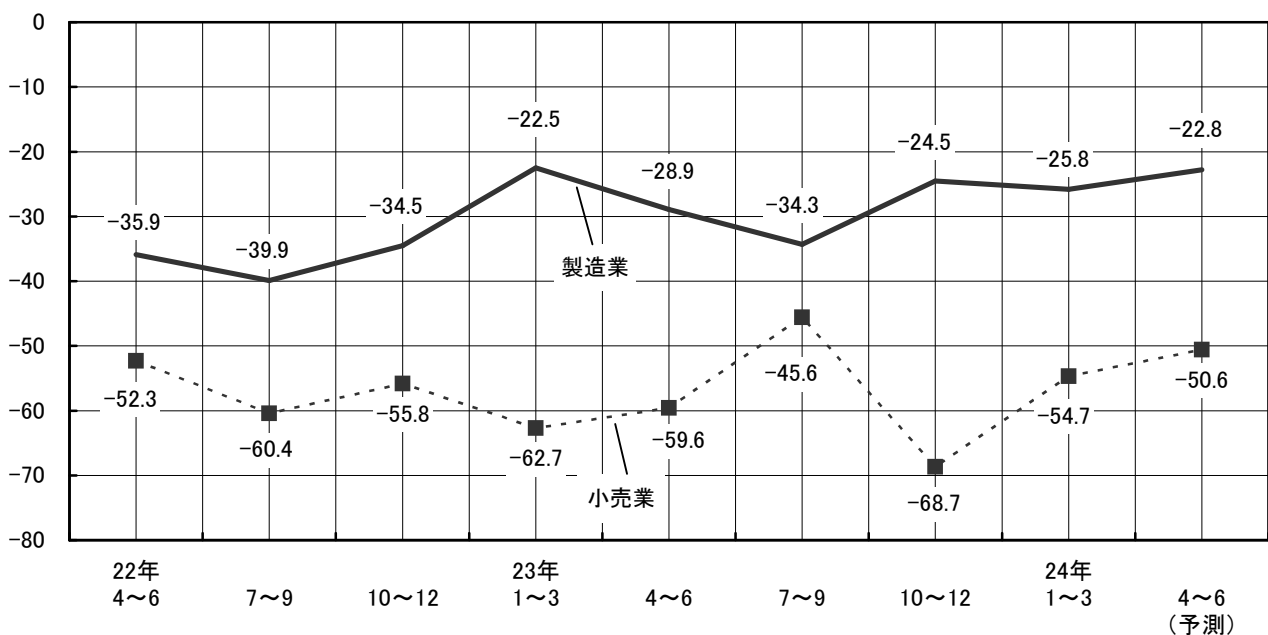
## 小売業



小売業の業況は、今期△55と大幅に改善傾向が見られた。売上額は△36、収益は△42といずれも減少・減益幅が大きく縮小した。価格動向を見ると、販売価格は△23と厳しさがかなり和らぎ、仕入価格は8と上昇傾向をかなり強めた。在庫は6とわずかに積み増し、資金繰りは△39と窮屈感がかなり緩和した。

業況が大きく持ち直した要因としては、「売上額の大幅な改善」「販売価格の下降傾向が大きく改善」に見られる売上改善と、それらによる収益の改善が考えられる。経営上の問題点では「同業者間の競争の激化」「店舗の狭小・老朽化」は前期より増加したが、「売上の停滞・減少」「商店街の集客力の低下」で減少が見られた。

各業種別業況の動き（実績）と来期の予測



# 製造業

## 売上・収益の動向と業況判断

今期の業況は△26 と、前期同様で推移した。売上額は前期△12 から今期△15 と幾分低迷し、収益は前期△27 から今期△18 と大きく回復の兆しが見られた。受注残は前期△22 から今期△19 と多少持ち直した。

## 価格・在庫動向

原材料価格は前期 30 から今期 38 と上昇幅が大きく拡大し、販売価格は△21 と前期並の下降が続いた。在庫は前期 10 から今期 13 と過剰感がわずかに強まった。

## 資金繰り・借入金動向

資金繰りは前期△33 から今期△20 と窮屈感がかなり緩和した。また、借入難易度は前期△12 から今期△1 と大幅に改善した。借入をした企業は今期 25%と、前期 37%から大きく減少した。

## 経営上の問題点・重点経営施策

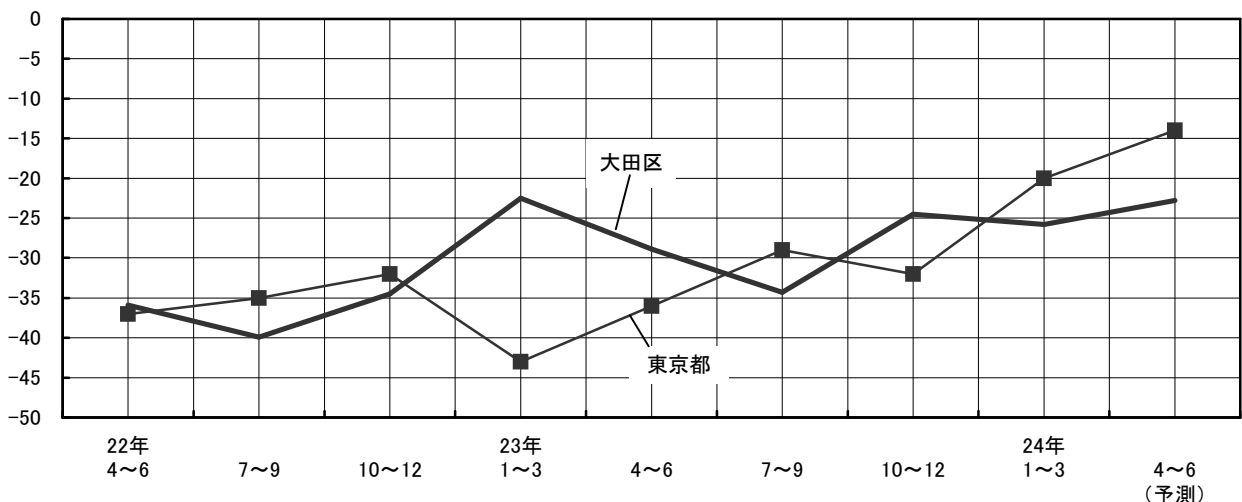
経営上の問題点については、1 位「売上の停滞・減少」65%、2 位「利幅の縮小」27%、3 位「同業者間の競争の激化」20%、4 位「原材料高」と「販売納入先からの値下げ要請」がともに 19%、5 位「工場・機械の狭小・老朽化」18%となった。前期との比較で主だった動きは、上位5位のうち「利幅の縮小」が4ポイント減少したものの、他の4項目は±2ポイント内の変動に止まり、大きな動きは見られなかった。しかし、業種別にみると、「売上の停滞・減少」では[一般機械器具、金型]（前期 71%→今期 55%）が 16 ポイント、[精密機械器具]（88%→76%）が 12 ポイント減少し、[金属製品、建設用金属、金属プレス]（61%→73%）は 12 ポイント増加した。「同業者間の競争の激化」では[金属製品、建設用金属、金属プレス]（36%→13%）が 23 ポイント減少し、[電気機械器具]（16%→31%）は 15 ポイント、[精密機械器具]（6%→16%）は 10 ポイント増加するなど、業種で違いが見られた。

重点経営施策では、1 位「販路を広げる」59%、2 位「経費を節減する」57%、3 位「新製品・技術を開発する」28%、4 位「情報力を強化する」20%、5 位「人材を確保する」15%となった。1 位から 5 位まで前期と同順位となった。

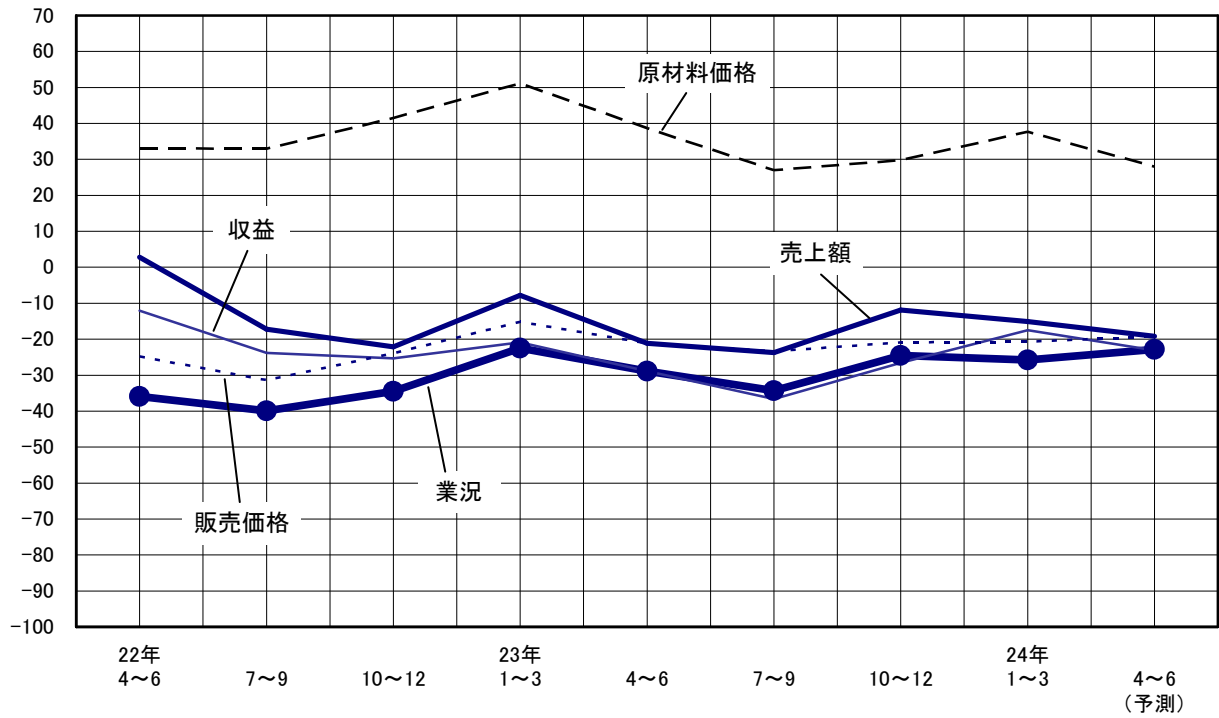
## 来期の見通し

来期は、業況はやや持ち直し、売上額と収益はいずれも若干低迷すると予測されている。また、原材料価格は上昇がかなり弱まり落ち着きを見せ、販売価格は厳しさがやや和らぐと見込まれている。

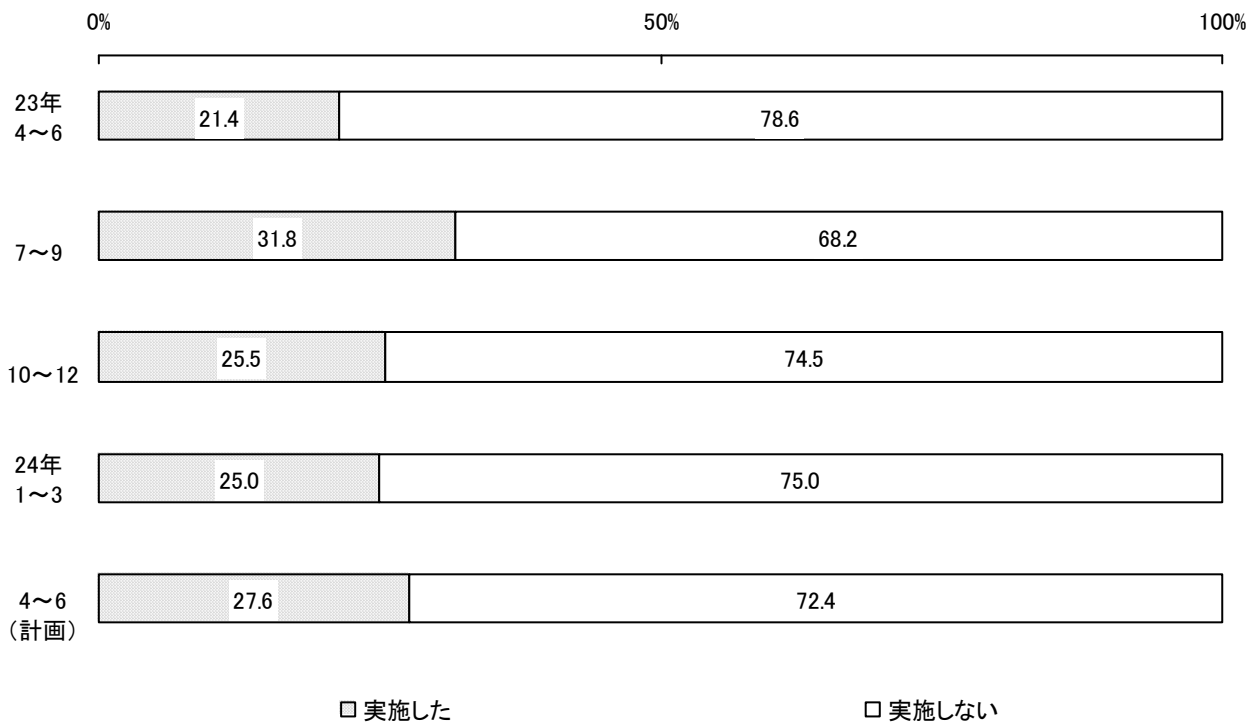
大田区と全都の製造業・業況の動き（実績）と来期の予測



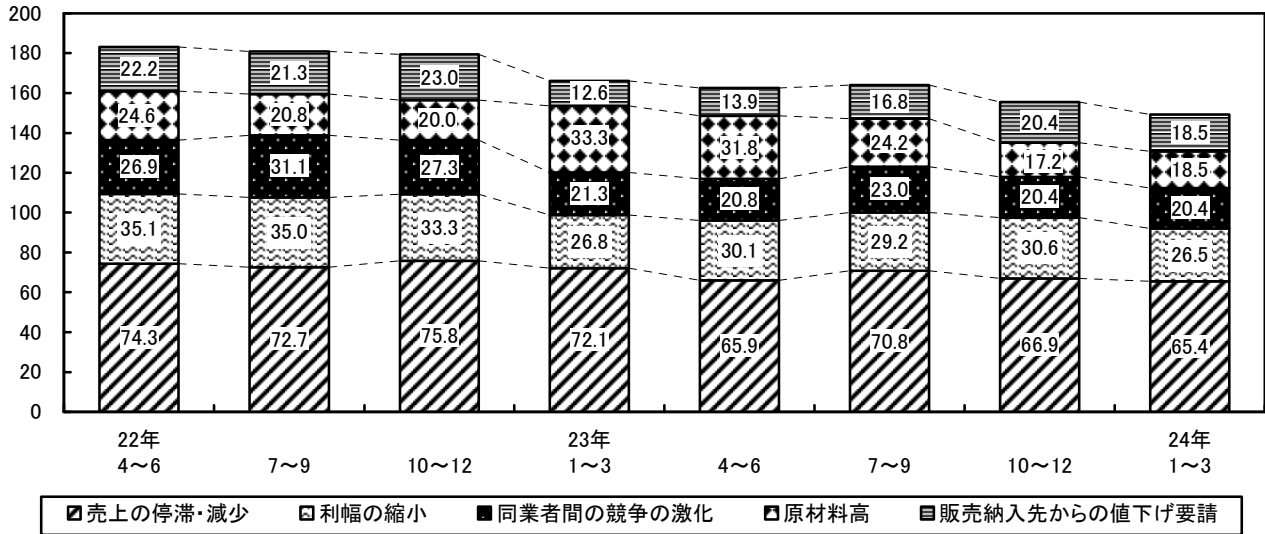
## 業況と売上額、収益、販売価格、原材料価格の動き（実績）と来期の予測



## 設備投資動向

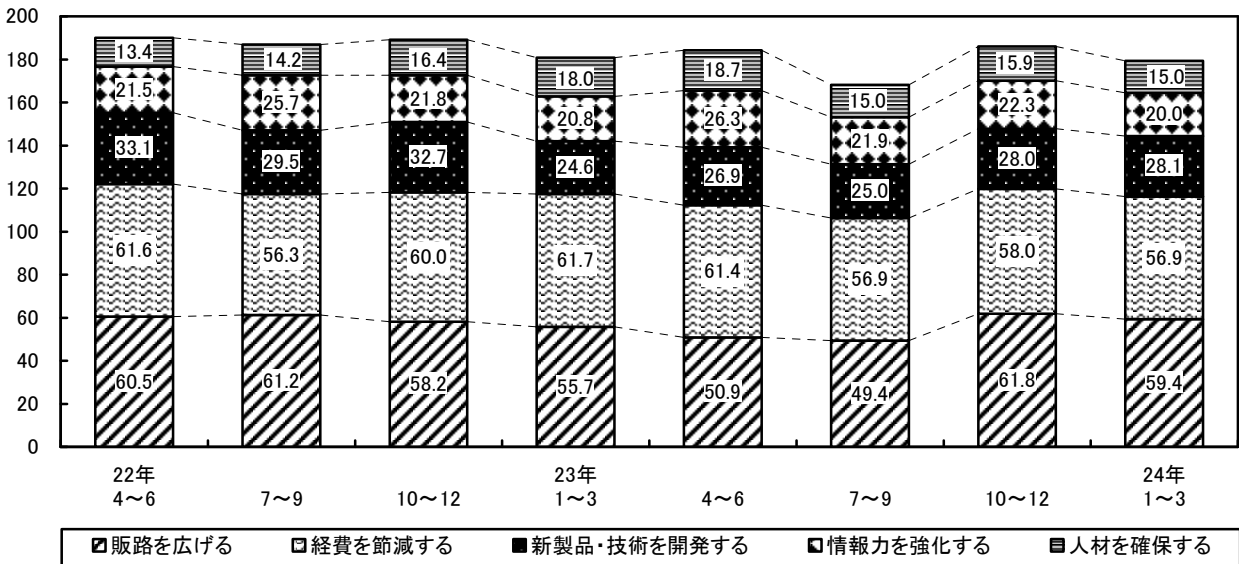


## 製造業 経営上の問題点 (%)



	23年4~6月期		23年7~9月期		23年10~12月期		24年1~3月期	
第1位	売上の停滞・減少	65.9 %	売上の停滞・減少	70.8 %	売上の停滞・減少	66.9 %	売上の停滞・減少	65.4 %
第2位	原材料高	31.8 %	利幅の縮小	29.2 %	利幅の縮小	30.6 %	利幅の縮小	26.5 %
第3位	利幅の縮小	30.1 %	原材料高	24.2 %	同業者間の競争の激化	20.4 %	同業者間の競争の激化	20.4 %
第4位	同業者間の競争の激化	20.8 %	同業者間の競争の激化	23.0 %	販売納入先からの値下げ要請	20.4 %	工場・機械の狭小・老朽化	17.8 %
第5位	工場・機械の狭小・老朽化	19.7 %	販売納入先からの値下げ要請	16.8 %	原材料高	17.2 %	原材料高	18.5 %
							販売納入先からの値下げ要請	18.5 %
							工場・機械の狭小・老朽化	17.9 %

## 製造業 重点経営施策 (%)



	23年4~6月期		23年7~9月期		23年10~12月期		24年1~3月期	
第1位	経費を節減する	61.4 %	経費を節減する	56.9 %	販路を広げる	61.8 %	販路を広げる	59.4 %
第2位	販路を広げる	50.9 %	販路を広げる	49.4 %	経費を節減する	58.0 %	経費を節減する	56.9 %
第3位	新製品・技術を開発する	26.9 %	新製品・技術を開発する	25.0 %	新製品・技術を開発する	28.0 %	新製品・技術を開発する	28.1 %
第4位	情報力を強化する	26.3 %	情報力を強化する	21.9 %	情報力を強化する	22.3 %	情報力を強化する	20.0 %
第5位	人材を確保する	18.7 %	人材を確保する	15.0 %	人材を確保する	15.9 %	人材を確保する	15.0 %

## 業種別動向

### (1) 輸送用機械器具

業況（前期△8→今期1）は大きく改善し良好感が出た。売上額（△19→△9）と収益（△22→△14）はいずれも大幅に減少・減益幅が縮小した。価格動向を見ると、原材料価格（14→15）は前期並の上昇が続き、販売価格（△16→△17）は前期同様の低下基調で推移した。在庫（10→12）はやや荷もたれ感が強まり、資金繰り（△27→△14）は厳しさが大きく和らいだ。

### (2) 電気機械器具

業況（△34→△40）は低調感をかなり強めた。売上額（△12→△15）はわずかに減少を強め、収益（△41→△22）は大幅に改善した。原材料価格（28→43）は上昇幅が大きく拡大し、販売価格（△16→△20）は下降を若干強めた。在庫（15→17）は過剰感がやや強まり、資金繰り（△29→△22）は窮屈感がかなり緩和した。

### (3) 一般機械器具、金型

業況（△30→△20）は水面下ながら大幅に改善した。売上額（△5→△14）は大きく低迷し、収益（△24→△12）は減少に大きく歯止めがかかった。原材料価格（45→36）は上昇幅が大きく縮小し、販売価格（△37→△27）は厳しさがかなり和らいだ。在庫（8→12）はわずかに過多感が強まり、資金繰り（△40→△29）は大幅に改善した。

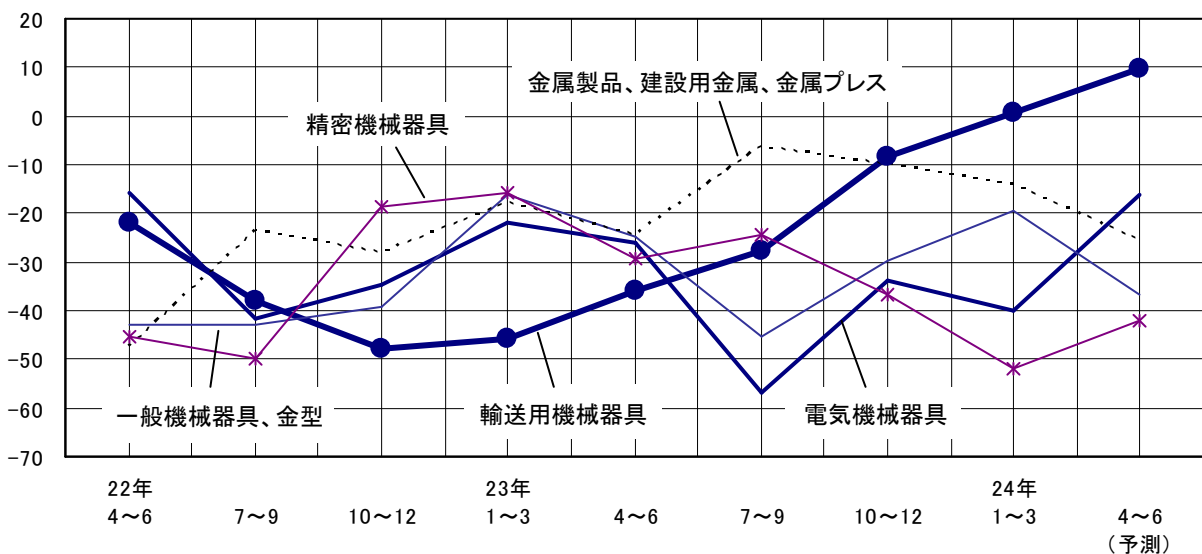
### (4) 金属製品、建設用金属、金属プレス

業況（△10→△14）は悪化が若干強まった。売上額（△2→△8）は減少幅が大きく拡大し、収益（△14→△3）は減益幅がかなり縮小した。販売価格（△22→△10）は下降傾向が大幅に改善し、原材料価格（19→37）は上昇が大きく強まった。在庫（10→14）は過剰感が幾分強まり、資金繰り（△39→△16）は厳しさが極端に和らいだ。

### (5) 精密機械器具

業況（△37→△52）は悪化幅が大きく拡大した。売上額（△42→△44）はやや低迷し、収益（△53→△49）は多少持ち直した。販売価格（△22→△39）は下降をかなり強め、原材料価格（28→45）は上昇幅が大きく拡大した。在庫（4→18）は荷もたれ感がかなり強まり、資金繰り（△28→△25）はわずかに改善した。

業種中分類別の業況の動き（実績）と来期の予測





## コメント《製造業》

### ＜輸送用機械器具＞

1. 国内トラック車体生産は活況有り。7月ぐらゐまでは高稼働を見込む。
2. 車関係の金型供給を行っているので、無難な経営を行えている。
3. 国内取引先の売上減が進行している中、アメリカとの取引の増加方向に動いている。売上については前年比20%増を考えている。
4. 自動車用ワイヤーハーネスの製造販売。棚卸の調整の為か、3月半ばから受注が減ってきている。来年度(2012年4月~2013年3月)は自動車関連の部品生産は上昇すると思われる。
5. 親企業の100%グループ会社の為、親企業(グループ)の景況による。
6. 現状は無難な状況であるが、受注先の海外生産強化及び安価な海外部品輸入増により、日本国内の空洞化が懸念される。
7. 先が見えない。

### ＜電気機械器具＞

1. 単月売上水準が、リーマンショック前の水準にほぼ戻った。今後どこまで伸ばせるかがテーマとなる。
2. リーマン後の景気が上昇傾向にあったのが、震災にて一時的に低調になった。復興するにつれて少し動きが出てきている様に思われ、今年は何とか上昇に向かうのではと感じている。現在、見積もりの話が多めに来ている。受注残も出てきている。
3. 昨年比10%の売上増を予想するが、人件費などは増える傾向にあり、収益面で大きく増えることはない。ドル円レート次第で利益は変動する。
4. 現在は以前より良いが、これから先が不透明で非常に不安である。
5. 海外へ流れるものが多く、国内に残っているものは価格、納期、品質の厳しいものばかりである。
6. 得意先の大手電機メーカー、事務機メーカーは、2012年3月末、多額の赤字決算を行っている。その煽りを受け、厳しいコストダウンに応じざるを得ず、更に中国へ生産移管されている。
7. 景況はここ数年変わらないが、納入先からは値下げ要請が来ており、原材料仕入先からは値上げの要請が来ている。社長の私の給料を削ってやっている。きつい。

8. 減収減益の継続。もう打てる手は無し。
9. 鉄道関連。震災以後、リピートが半減。現在も戻っていない。

### ＜一般機械器具、金型＞

1. 徐々に回復傾向にある。
2. 弊社は官需が多く、震災の影響で予算が決まらず動きが悪かったが、今期は回復の兆しがあり、期待している。
3. 年度末が過ぎ、人事異動、5月連休と続くので、一服状態と言ったところである。
4. 厳しい状態は続いている。最近高齢化や病気等で廃業する同業者に仕事を依頼していた企業から、当社へ仕事が廻ってくるようになった。
5. 2012年1月から4月まではタイの水害被害による復興需要として前期より30%近い注文があった。しかし6月以後、この需要が無くなると再び減少に向かう。東南アジア経済の成長が鈍化するものと推測する。
6. 金属部品加工の弊社においては、仕事の海外流出等で、将来仕事量が減少すると思われる為、工場や設備の改善、人材の確保に躊躇しているのが現状である。
7. 期待するとかそういうレベルではない。日本の未来が心配になる。

### ＜金属製品、建設用金属、金属プレス＞

1. 弊社においては、試作品を主としている為、開発部門に力を入れている企業(親会社)に恵まれているので、何とか運営して行けると思う。
2. 来期は仕事量が確保されているが、その先の見通しははっきりしない。
3. 4月以降売上が少し上昇してきそう。収益は辛うじて、と言うところである。
4. 100%受注加工をしており、従来の得意先との情報交換や新規顧客を開発していければと思う。景気は、2月頃より低迷している。
5. 不況による取引先の廃業が気になる。
6. 機械・設備の老朽化が問題だが、それに当てる資金が出せない。従業員の高齢化があり、後継者がいない。
7. 需要の低迷・停滞が長引いている為、価格競争が激化している。
8. 先が見えない。

### <精密機械器具>

1. 海外出荷が順調に伸長している。
2. 開発やライン増設に伴う受注が増加しているが、海外向けとなっている。秋以降、国内のライン増設の計画が分からない。
3. 日本の景気回復の足取りが鈍く、お金の流れが停滞しており、売上がうまく伸びない状況。
4. 景況は良くはないが、人件費を極端に下げて切り盛りしている。
5. 現在の受注状況は良くない。同業者が行っていない分野で新たに事業展開していく予定。
6. 今までにない程、売上が落ち込んでいる。
7. 海運業界の不振に伴い、弊社の売上也減少している。円高の進行もあり、利益面も厳しい状況にある。
8. 変わらず悪い。

# 小 売 業

## 売上・収益の動向と業況判断

業況は、前期△69 から今期△55 と厳しさがかなり和らいだ。売上額は前期△49 から今期△36、収益は前期△61 から今期△42 といずれも大幅に持ち直した。

## 価格・在庫動向

販売価格は前期△29 から今期△23 と下降傾向が大きく改善し、仕入価格は前期 2 から今期 8 と上昇幅がかなり拡大した。在庫は前期 2 から今期 6 と過剰感が幾分強まった。

## 資金繰り・借入金動向

資金繰りは前期△52 から今期△39 と厳しさが大きく和らいだ。借入難易度は前期△11 から今期△15 と苦しさが若干強まった。今期借入れを実施した企業は 27%と、前期並で推移した。

## 経営上の問題点・重点経営施策

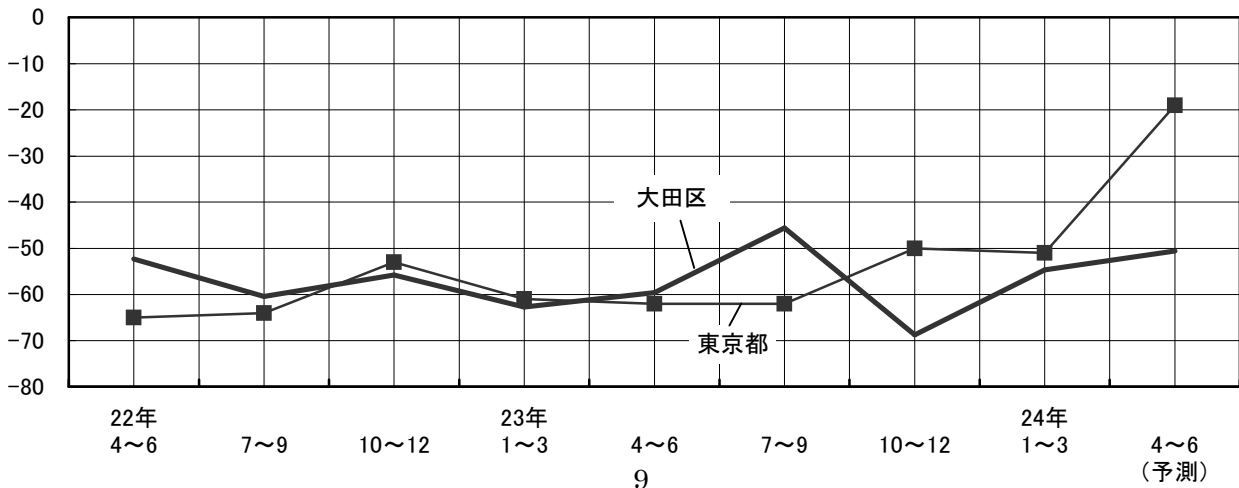
経営上の問題点は、1 位「売上の停滞・減少」68%、2 位「同業者間の競争の激化」30%、3 位「利幅の縮小」24%、4 位「大型店との競争の激化」18%、5 位「店舗の狭小・老朽化」17%となった。前期との比較で主だった動きは「店舗の狭小・老朽化」は 9 ポイント増加、「同業者間の競争の激化」は 6 ポイント増加したが、「商店街の集客力の低下」は 8 ポイント減少、「売上の停滞・減少」は 3 ポイント減少した。更に業種別にみると、「売上の停滞・減少」では[家具、家電]（前期 78%→今期 63%）が 15 ポイント減少した。「同業者間の競争の激化」では[飲食店]（15%→36%）が 21 ポイント増加したが、[家具、家電]（28%→13%）が 15 ポイント減少した。「商店街の集客力の低下」は[衣服・身の回り品]（47%→19%）が 28 ポイント減少し、[飲食料品]（29%→17%）も 12 ポイント減少し、[飲食店]以外の 3 業種で明るい要因が見られた。

重点経営施策については、1 位「経費を節減する」が 53%と最も多く、以下、2 位「品揃えを改善する」29%、3 位「宣伝・広報を強化する」と「売れ筋商品を取扱う」がともに 25%、4 位は「教育訓練を強化する」が 18%、5 位は「人材を確保する」が 15%となった。前期と比較すると、4 位まで同項目が並んだが、5 位が前期の「新しい事業をはじめ」から「人材を確保する」に入れ替わった。

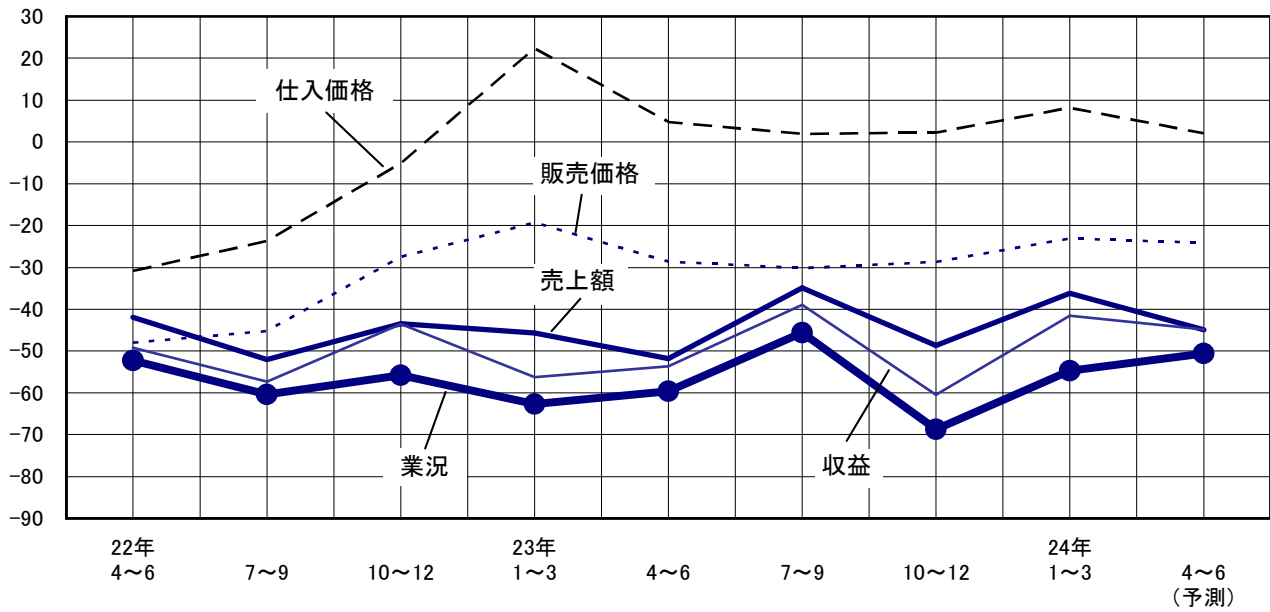
## 来期の見通し

来期の見通しについては、業況は悪化幅がわずかに縮小し、売上額は減少をかなり強め、収益も多少低迷すると見込まれている。販売価格は今期同様の低下基調で推移し、仕入価格は上昇が大きく弱まり落着きを見せると予測されている。

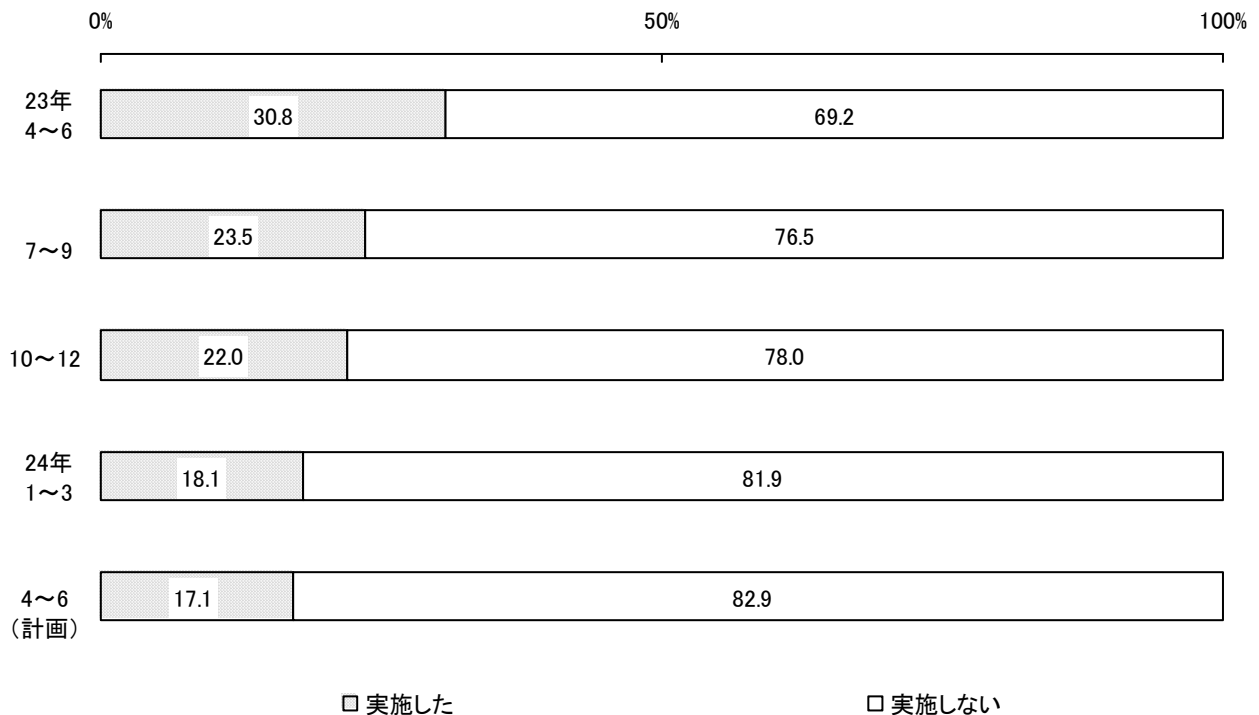
## 大田区と全都の小売業・業況の動き（実績）と来期の予測



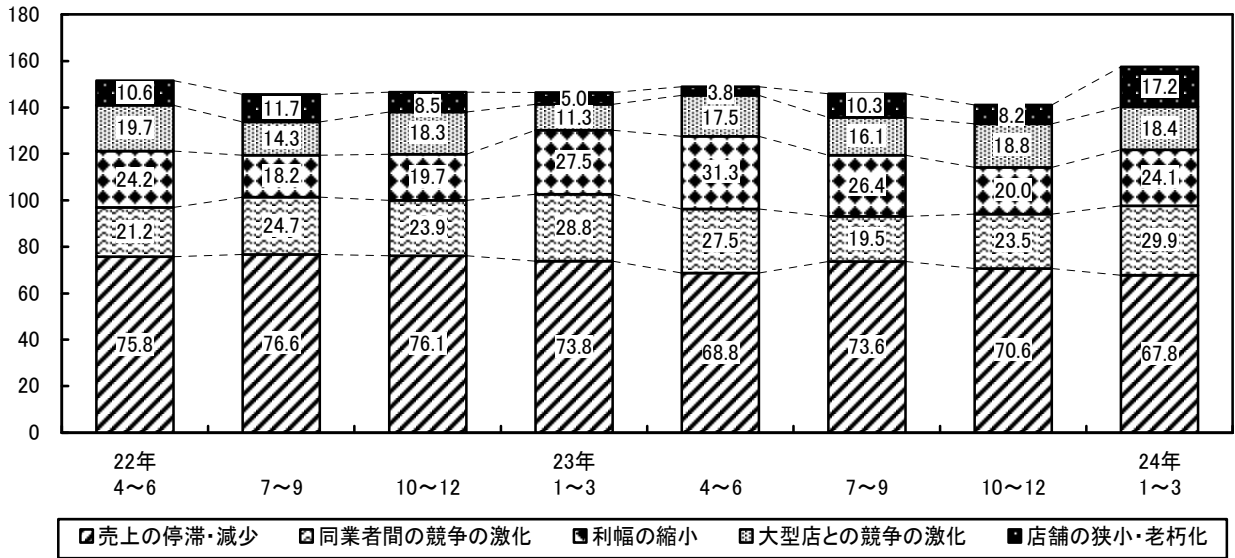
## 業況と売上額、収益、販売価格、仕入価格の動き（実績）と来期の予測



## 設備投資動向

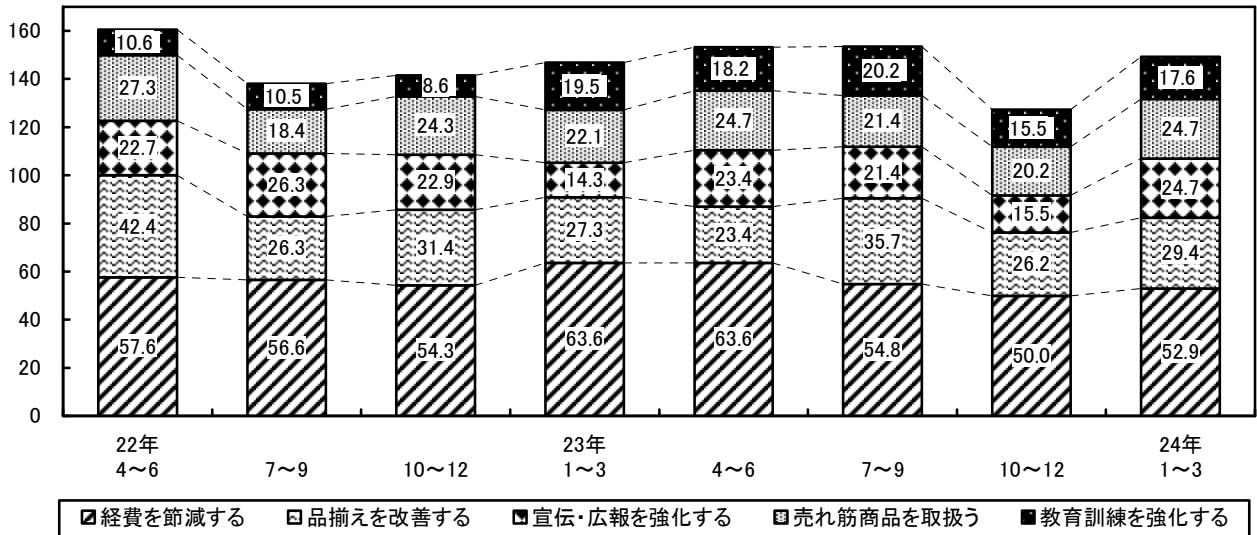


## 小売業 経営上の問題点 (%)



	23年4~6月期		23年7~9月期		23年10~12月期		24年1~3月期	
第1位	売上の停滞・減少	68.8 %	売上の停滞・減少	73.6 %	売上の停滞・減少	70.6 %	売上の停滞・減少	67.8 %
第2位	利幅の縮小	31.3 %	利幅の縮小	26.4 %	同業者間の競争の激化 商店街の集客力の低下	23.5 % 23.5 %	同業者間の競争の激化	29.9 %
第3位	同業者間の競争の激化	27.5 %	商店街の集客力の低下	24.1 %	利幅の縮小	20.0 %	利幅の縮小	24.1 %
第4位	取引先の減少	22.5 %	同業者間の競争の激化	19.5 %	大型店との競争の激化	18.8 %	大型店との競争の激化	18.4 %
第5位	大型店との競争の激化	17.5 %	取引先の減少	18.4 %	取引先の減少	16.5 %	店舗の狭小・老朽化	17.2 %

## 小売業 重点経営施策 (%)



	23年4~6月期		23年7~9月期		23年10~12月期		24年1~3月期	
第1位	経費を節減する	63.6 %	経費を節減する	54.8 %	経費を節減する	50.0 %	経費を節減する	52.9 %
第2位	売れ筋商品を取扱う	24.7 %	品揃えを改善する	35.7 %	品揃えを改善する	26.2 %	品揃えを改善する	29.4 %
第3位	品揃えを改善する	23.4 %	宣伝・広報を強化する	21.4 %	売れ筋商品を取扱う	20.2 %	宣伝・広報を強化する	24.7 %
	宣伝・広報を強化する	23.4 %	売れ筋商品を取扱う	21.4 %			売れ筋商品を取扱う	24.7 %
第4位	教育訓練を強化する	18.2 %	教育訓練を強化する	20.2 %	宣伝・広報を強化する	15.5 %	教育訓練を強化する	17.6 %
					教育訓練を強化する	15.5 %		
第5位	仕入先を開拓・選別する	15.6 %	仕入先を開拓・選別する	14.3 %	新しい事業を始める	11.9 %	人材を確保する	15.3 %

## 業種別動向

### (1) 家具、家電

業況（前期 $\Delta 73$ →今期 $\Delta 31$ ）は水面下ながら特に大きく改善した。売上額（ $\Delta 43$ → $8$ ）は特に大幅に好転し、収益（ $\Delta 59$ → $\Delta 2$ ）は特に大きく減益幅が縮小した。販売価格（ $\Delta 45$ → $\Delta 32$ ）は下降傾向がかなり改善し、仕入価格（ $\Delta 15$ → $\Delta 2$ ）は良好感に大きくかげりが見られた。在庫（ $\Delta 18$ → $\Delta 8$ ）は品薄感が大幅に改善し、資金繰り（ $\Delta 56$ → $\Delta 36$ ）は窮屈感が極端に緩和した。借入難易度（ $16$ → $0$ ）は容易さが縮小し、借入れをした企業（ $33\%$ → $13\%$ ）は極端に減少した。

### (2) 飲食店

業況（ $\Delta 63$ → $\Delta 75$ ）は深刻さがかなり増した。売上額（ $\Delta 69$ → $\Delta 72$ ）はわずかに低迷し、収益（ $\Delta 82$ → $\Delta 76$ ）は減少に大きく歯止めがかかった。販売価格（ $\Delta 38$ → $\Delta 50$ ）は下降幅がかなり拡大し、仕入価格（ $\Delta 1$ → $18$ ）は大幅に厳しい状況に転じた。在庫（ $\Delta 2$ → $\Delta 6$ ）は適正範囲から品薄へとわずかに推移し、資金繰り（ $\Delta 45$ → $\Delta 46$ ）は前期並の苦しさが続いた。借入難易度（ $\Delta 11$ → $\Delta 21$ ）は大幅に苦しさを増し、借入れをした企業（ $31\%$ → $29\%$ ）はやや減少した。

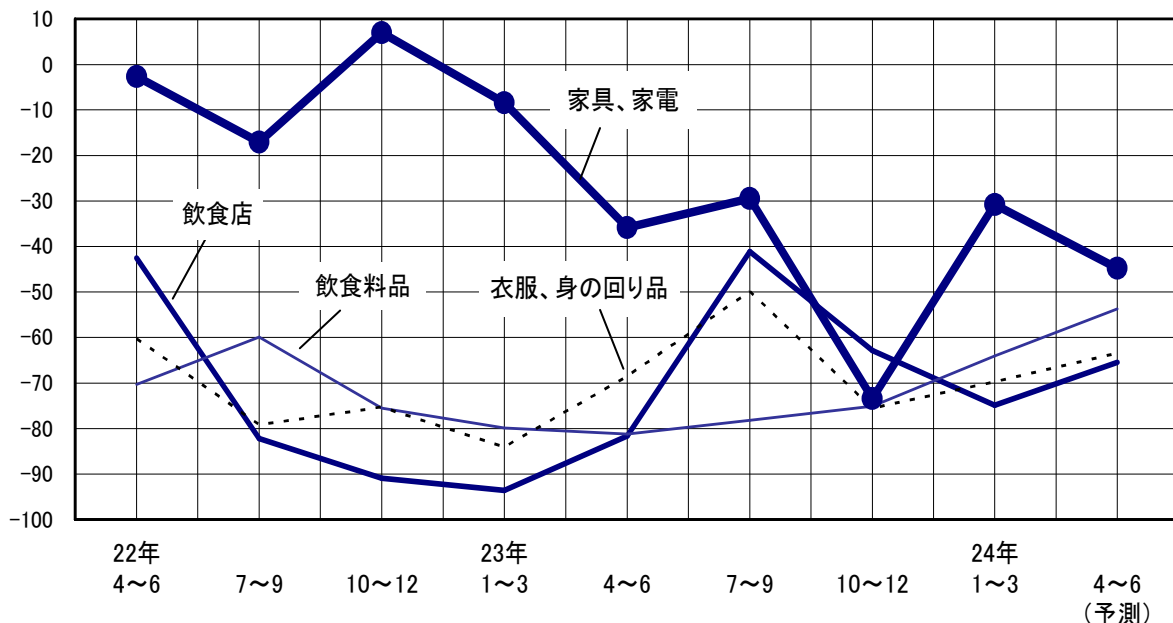
### (3) 飲食料品

業況（ $\Delta 75$ → $\Delta 64$ ）は大幅に上向いた。売上額（ $\Delta 72$ → $\Delta 65$ ）はかなり持ち直し、収益（ $\Delta 85$ → $\Delta 57$ ）は特に大きく改善した。仕入価格（ $29$ → $33$ ）は上昇が若干強まり、販売価格（ $\Delta 13$ → $9$ ）は特に大幅に好転した。在庫（ $8$ → $19$ ）は過剰感がかなり強まり、資金繰り（ $\Delta 47$ → $\Delta 37$ ）は厳しさが大きく和らいだ。借入難易度（ $\Delta 23$ → $12$ ）は容易になり、借入れをした企業（ $35\%$ → $29\%$ ）はやや減少した。

### (4) 衣服、身の回り品

業況（ $\Delta 76$ → $\Delta 70$ ）は大幅に持ち直した。売上額（ $\Delta 40$ → $\Delta 64$ ）は特に大きく減少幅が拡大し、収益（ $\Delta 37$ → $\Delta 47$ ）も減少をかなり強めた。仕入価格（ $\Delta 4$ → $\Delta 20$ ）は大きく低下して良好感が強まり、販売価格（ $\Delta 18$ → $\Delta 58$ ）は極端に下降を強めた。在庫（ $30$ → $27$ ）は過剰感が多少緩和し、資金繰り（ $\Delta 72$ → $\Delta 63$ ）は厳しさがかなり和らいだ。借入難易度（ $7$ → $\Delta 29$ ）は苦しくなり、借入れをした企業（ $13\%$ → $13\%$ ）は前期並であった。

業種中分類別の業況の動き（実績）と来期の予測



## コメント《小売業》

### ＜家具、家電＞

1. 商材も揃い、後はいかにこの良い商材を多くの人に知って頂くかが発展のカギである。
2. 専門分野の強化。原点に戻って、顧客満足。
3. 川下の販売会社のため、全体の景気が良くなるかどうかどうしようもない。特に新規採用が増えないと、物が動かない。
4. 今の経済状況では零細企業はやって行けなくなる。電力や消費税等の値上げが実施されれば、国民全体の消費が落ち、結局設備投資も少なくなり、私達も努力しても追いつけなくなる。

### ＜飲食店＞

1. 周辺の同業店の開店ラッシュが一段落し、顧客の回帰が見られ、年末の酷い売上の落ち込みが幾分改善した。しかし、予断は許さない状況が続いている。人件費圧縮とサービス向上と言う、相反する課題の克服が急務である。
2. 会社設立 48 年以来、大田区産業の為に貢献してきた。大田区産業経済部産業振興課は、今後地元の企業にチャンスを作してほしい。共に大田区の為に努力する。
3. 商店街の各店舗の意見が交換できるような場・集まりがあれば、とても良いと思う。災害が来ても、助け合いの出来るような顔合わせが必要だと思う。
4. 売上減少、慢性的な赤字、ここ数年無給。以前、慎ましく生活し、蓄えた預金で何とか維持している。いよいよ苦しくダメな時は融資を受けず、潔く廃業する所存である。居酒屋の現実。
5. 昼はランチをやっているのが忙しいが、夜は全然駄目である。営業時間を長くしても来客がなく、パート代が大変なので、営業時間は前よりも短くしている。

### ＜飲食料品＞

1. 商品の少量化による包材費の上昇と、手間が増え、人件費が下がらない。イベントでは集客出来るが、平常の集客が難しい。
2. 三陸のわかめだけを取扱っている会社なので、震災の影響から抜け出せないでいる。
3. 消費税が上がれば、不景気は更に大きくなるであろう。
4. 6月をもって閉店。

### ＜衣服、身の回り品＞

1. 売上も下げ止まり、経費削減と荒利益率のアップで、利益が昨年より改善してきた。今後は競合他社の差別化と、圧倒的な商品力で、更なる飛躍を信じて頑張る。
2. 昨年 3 月以降は売上が回復しても、低価格、割引商品が主だったが、今年 1～3 月は高価格の商品を大幅値引きしなくとも販売し易くなって、客単価が上昇している。
3. オーダー紳士服の製造販売業。6 月から 9 月の 4 か月はクールビズ奨励で大変逆境である。8 か月で 1 年分の経費を稼がなければならない。私共は国内製造 100%。中国製を販売する大型店と競争して行かなければならない。シルエットやサイズなど色々難しくなってきたが、この仕事が好きだから、最後まで残る店にしたいと頑張っている。来年で 50 周年。
4. 商店街に活気がない。行政がもっと商店街通りを見直す事をしなくてはいけない。大型・中型スーパーだけでは町が駄目になる。
5. 呉服小売業。着用機会の減少。
6. まだまだ厳しい経営環境で、いつまで続けられるか分からない。
7. 前期は天候不順。今期は大型ショッピングセンターのオープンで、当社が出店しているショッピングセンターの陳腐化を恐れている。

# 日銀短観

[調査対象企業数]

(2012年3月調査)

	製造業	非製造業	合計	回答率
全国企業	4,371社	6,523社	10,894社	98.6%
うち大企業	1,178社	1,166社	2,344社	98.8%
中堅企業	1,172社	1,804社	2,976社	98.2%
中小企業	2,021社	3,553社	5,574社	98.7%
金融機関	—	—	202社	97.5%

(参考)事業計画の前提となっている想定為替レート(大企業・製造業) (円/ドル)

	2011年度		2012年度		2011年度	2012年度
	上期	下期	上期	下期		
2011年12月調査	79.02	80.26	77.90	—	—	—
2012年3月調査	78.93	80.20	77.69	78.14	78.04	78.24

[業況判断]

(「良い」-「悪い」・%ポイント)

	2011年12月調査		2012年3月調査			
	最近	先行き	最近	変化幅	先行き	変化幅
<b>大企業</b>						
製造業	-4	-5	-4	0	-3	1
非製造業	4	0	5	1	5	0
全産業	0	-2	0	0	1	1
<b>中堅企業</b>						
製造業	-3	-10	-7	-4	-8	-1
非製造業	-4	-8	-1	3	-5	-4
全産業	-3	-9	-3	0	-6	-3
<b>中小企業</b>						
製造業	-8	-17	-10	-2	-15	-5
非製造業	-14	-21	-11	3	-16	-5
全産業	-12	-20	-10	2	-16	-6
<b>全規模合計</b>						
製造業	-5	-12	-7	-2	-10	-3
非製造業	-7	-14	-5	2	-9	-4
全産業	-7	-13	-6	1	-9	-3

[売上高・収益計画]

(前年度比・%)

		2011年度(計画)		2012年度(計画)	
		修正率	修正率	修正率	修正率
大企業	製造業	0.4	-2.0	2.0	—
	国内	2.0	-1.5	2.0	—
	輸出	-3.6	-3.1	2.3	—
	非製造業	2.6	0.0	1.2	—
	全産業	1.7	-0.8	1.5	—
中堅企業	製造業	2.0	-0.7	2.3	—
	非製造業	2.4	0.9	2.5	—
	全産業	2.3	0.5	2.4	—
中小企業	製造業	0.6	-0.4	0.8	—
	非製造業	0.5	0.2	0.3	—
	全産業	0.5	0.0	0.4	—
全規模合計	製造業	0.7	-1.5	1.9	—
	非製造業	1.9	0.2	1.2	—
	全産業	1.5	-0.3	1.4	—

(注)修正率・幅は、前回調査との対比

[需給・在庫・価格判断]

(%ポイント)

		2011年12月調査		2012年3月調査			
		最近	先行き	最近	変化幅	先行き	変化幅
国内での製商品・サービス需給判断 〔「需要超過」-「供給超過」〕	製造業	-29	-31	-30	-1	-32	-2
	うち素材業種	-34	-37	-35	-1	-35	0
	加工業種	-25	-28	-28	-3	-29	-1
	非製造業	-33	-35	-31	2	-33	-2
海外での製商品需給判断 〔「需要超過」-「供給超過」〕	製造業	-18	-19	-18	0	-18	0
	うち素材業種	-25	-26	-23	2	-24	-1
	加工業種	-13	-15	-15	-2	-14	1
製商品在庫水準判断 〔「過大」-「不足」〕	製造業	16	16	16	0	16	0
	うち素材業種	17	19	19	2	19	2
	加工業種	15	15	15	0	15	0
製商品流通在庫水準判断 〔「過大」-「不足」〕	製造業	18	22	22	4	22	4
	うち素材業種	24	27	27	3	27	3
	加工業種	15	19	19	4	19	4
販売価格判断 〔「上昇」-「下落」〕	製造業	-17	-21	-18	-1	-20	-2
	うち素材業種	-10	-13	-11	-1	-11	0
	加工業種	-22	-26	-23	-1	-26	-3
	非製造業	-21	-22	-19	2	-20	-1
仕入価格判断 〔「上昇」-「下落」〕	製造業	20	25	24	4	32	8
	うち素材業種	18	24	29	11	36	7
	加工業種	21	26	20	-1	28	8
	非製造業	12	16	18	6	20	2

## 東京都と大田区の企業倒産動向 (平成24年3月)

### 1. 東京都の倒産概況

(単位:件・億円)

	平成23年3月		平成24年2月		平成24年3月		前月比	前年同月比
	件数	金額	件数	金額	件数	金額		
件数	207	706	223	4,923	259	1,932	36	52
金額							-2,991	1,226

### 2. 原因別倒産動向

(単位:件・億円)

	放漫経営		過小資本		他社倒産の余波		既往のしわよせ		販売不振	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
10	14	2	2	22	1,331	17	75	206	498	
1	9	0	0	0	0	0	0	1	0.1	

### 3. 業種別・規模別倒産動向

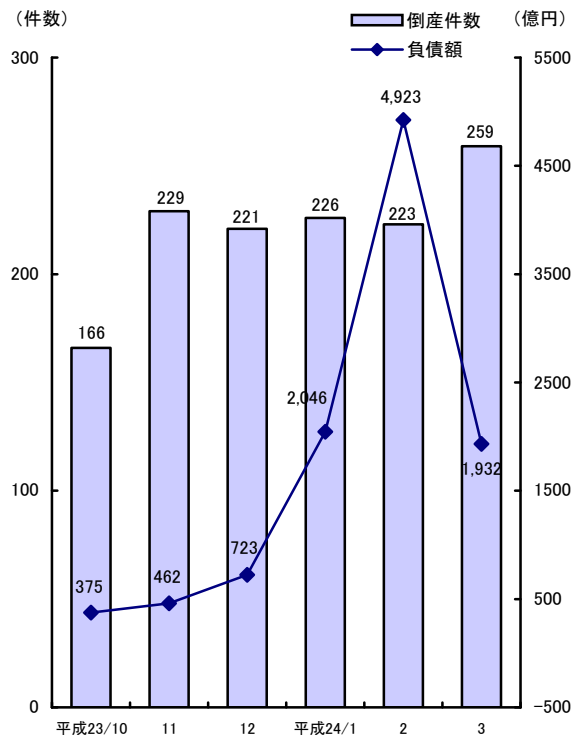
(単位:件・億円)

	件数			金額		
	前年同月	前月	当月	前年同月	前月	当月
製造業	30	29	37	53	4,552	1,365
卸売業	42	42	44	240	81	54
小売業	11	13	22	12	8	17
サービス業	41	45	47	75	21	110
建設業	34	34	34	49	39	20
不動産業	9	3	12	6	1	261
情報通信業・運輸業	20	33	33	25	51	30
宿泊業・飲食サービス業	11	21	19	172	85	44
その他	9	3	11	69	80	27
合計	207	223	259	706	4,923	1,932

### 4. 大田区内の平成24年3月の倒産動向

業種	件数	負債総額
製造業	3件	149.7百万円
卸売業	2件	11.0百万円
小売業	1件	6.5百万円
サービス業	3件	19.0百万円
建設業	0件	0百万円
不動産業	1件	7.0百万円
情報通信業・運輸業	0件	0百万円
宿泊業・飲食サービス業	1件	5.0百万円
その他	1件	1.2百万円
合計	12件	199.4百万円

(株)東京商工リサーチ調べ

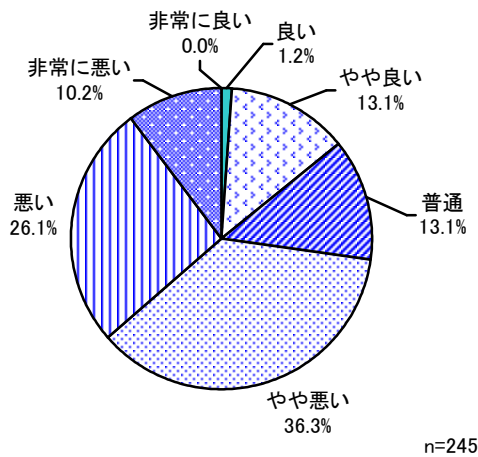




## 特別調査「平成24年度の経営見通し」

- ①平成24年度の日本の景気は『悪い』が7割超
- ②平成24年度の自社の業況見通しは『悪い』が6割超
- ③平成24年度の自社の売上額の伸び率の見通しは「10～19%の減少」が2割超で最多
- ④自社の業況が上向き転換点は「業況改善の見通しは立たない」が約4割で最多
- ⑤自社の今後の成長・拡大を期待したい分野は「特にない」が3割超で最多、僅差で「環境・エネルギー」
- ⑥問5の分野に取り組む上での課題や障害は「販路開拓」が4割超で最多

### 問1. 平成24年度の日本の景気



平成24年度の日本の景気については、「やや悪い」が36.3%で最も多く、次いで「悪い」が26.1%、「やや良い」と「普通」が13.1%であった。なお、「やや悪い」「悪い」「非常に悪い」を合計した『悪い』が72.6%であったのに対し、「非常に良い」「良い」「やや良い」を合計した『良い』は14.3%にとどまり、「非常に良い」は0.0%であった。

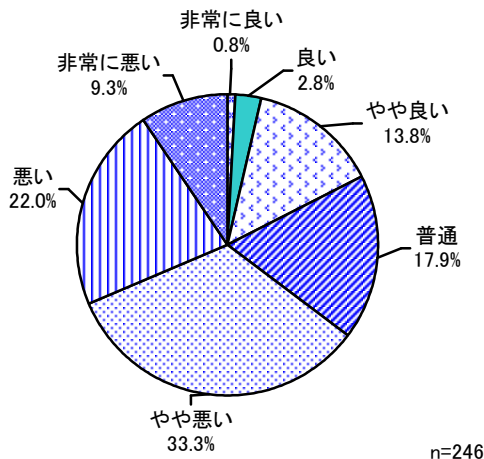
業種別にみると、製造業は「やや悪い」が39.8%で最も多く、次いで「悪い」が21.1%、「普通」が16.8%と続き、『悪い』は67.7%であった。

小売業は「悪い」が35.7%で最も多く、次いで「やや悪い」29.8%、「非常に悪い」16.7%と続き、『悪い』は82.2%であった。小売業の方が日本の景気が悪いとの見通しが、より強い傾向にあった。

(単位: %)

業種	非常に良い	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	非常に悪い
全体	0.0	1.2	13.1	13.1	36.3	26.1	10.2
製造業	0.0	0.6	14.9	16.8	39.8	21.1	6.8
小売業	0.0	2.4	9.5	6.0	29.8	35.7	16.7

### 問2. 平成24年度の自社の業況見通し



平成24年度の自社の業況見通しについては、「やや悪い」が33.3%で最も多く、次いで「悪い」が22.0%、「普通」が17.9%であった。『悪い』は64.6%、『良い』は17.4%であった。『悪い』が6割を超えているが、問1の『悪い』を8.0ポイント下回り、日本の景気の見通しよりは、明るさを感じられる結果となった。

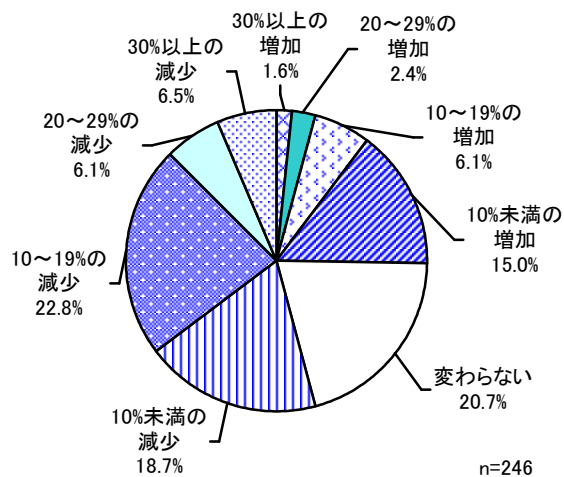
業種別にみると、製造業では「やや悪い」が36.4%で最も多く、次いで「普通」18.5%、「やや良い」17.3%と続き、『悪い』は60.5%であった。

小売業では「悪い」が32.1%で最も多く、次いで「やや悪い」27.4%、「普通」16.7%と続き、『悪い』は72.6%となり、小売業のほうがより厳しい業況見通しとなっている。

(単位: %)

業種	非常に良い	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	非常に悪い
全体	0.8	2.8	13.8	17.9	33.3	22.0	9.3
製造業	1.2	2.5	17.3	18.5	36.4	16.7	7.4
小売業	0.0	3.6	7.1	16.7	27.4	32.1	13.1

### 問3. 平成 24 年度の自社の売上額の伸び率の見通し(前年度比)



平成 24 年度の自社の売上額の伸び率の見通しは、「10~19%の減少」が 22.8%で最も多く、次いで「変わらない」が 20.7%、「10%未満の減少」が 18.7%であった。「10%未満の減少」から「30%以上の減少」までを合計した『減少』は 54.1%となった。一方、「30%以上の増加」から「10%未満の増加」までを合計した『増加』は 25.1%と、『減少』が『増加』の 2 倍以上となった。

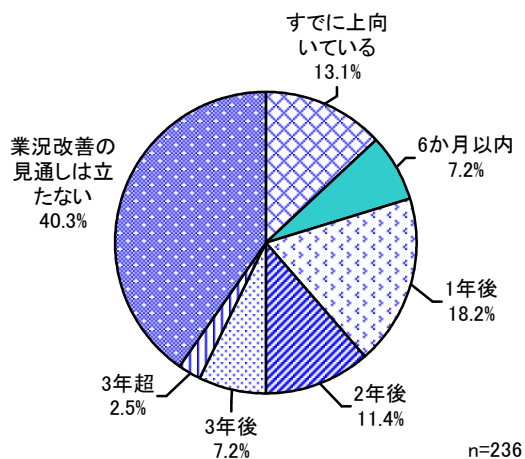
業種別にみると、製造業では「変わらない」が 22.8%で最も多く、以下「10~19%の減少」が 20.4%、「10%未満の増加」が 16.7%と続いた。『減少』は 47.5%と半数を下回り、『増加』は 29.7%と約 3 割を占めた。

小売業では「10~19%の減少」が 27.4%で最も多く、次いで「10%未満の減少」が 26.2%、「変わらない」が 16.7%と続いた。『減少』は 66.7%、『増加』は 16.7%と、小売業のほうが製造業に比べ減少見通しが強く、より厳しい状況にあることがうかがえる。

(単位: %)

	30%以上の増加	20~29%の増加	10~19%の増加	10%未満の増加	変わらない	10%未満の減少	10~19%の減少	20~29%の減少	30%以上の減少
全体	1.6	2.4	6.1	15.0	20.7	18.7	22.8	6.1	6.5
製造業	2.5	2.5	8.0	16.7	22.8	14.8	20.4	7.4	4.9
小売業	0.0	2.4	2.4	11.9	16.7	26.2	27.4	3.6	9.5

### 問4. 自社の業況が上向く転換点



自社の業況が上向く転換点については、「業況改善の見通しは立たない」が 40.3%で最も多く、以下「1年後」が 18.2%、「すでに上向いている」が 13.1%と続いた。

業種別にみると、製造業では「業況改善の見通しは立たない」が 34.6%で最も多く、次いで「1年後」が 19.2%、「すでに上向いている」が 16.0%であった。

小売業でも「業況改善の見通しは立たない」が 51.3%で最も多く、次いで「1年後」が 16.3%、「3年後」が 11.3%といずれの業種も 2 位までは同順位であった。なお、小売業の「すでに上向いている」は 7.5%で、製造業が小売業の 2 倍以上となり、回復基調が比較的強い傾向にあった。

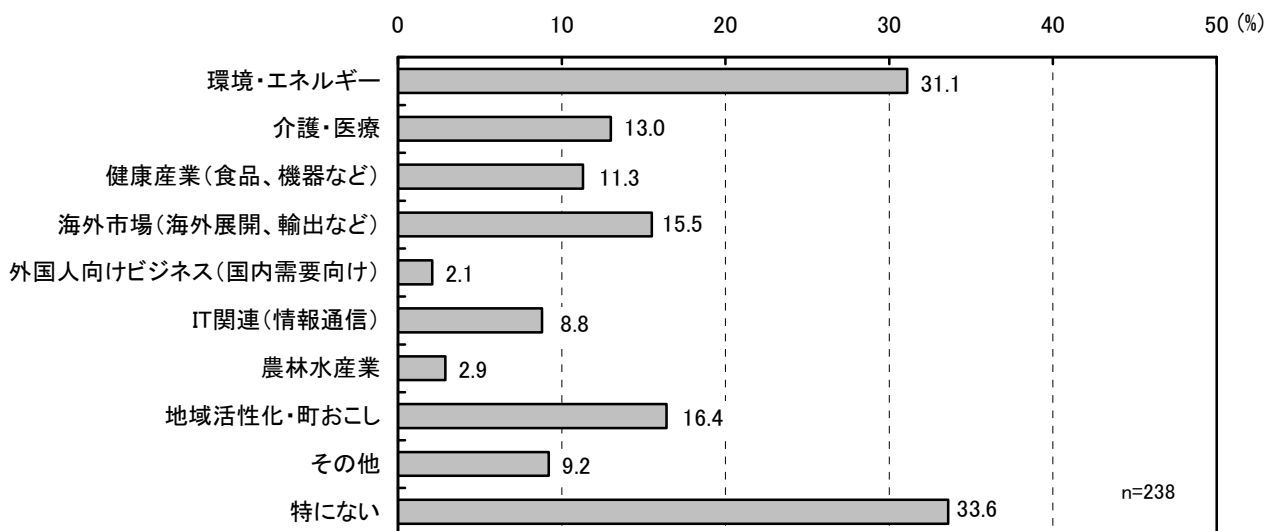
(単位: %)

業種	すでに上向いている	6か月以内	1年後	2年後	3年後	3年超	業況改善の見通しは立たない
全体	13.1	7.2	18.2	11.4	7.2	2.5	40.3
製造業	16.0	8.3	19.2	14.1	5.1	2.6	34.6
小売業	7.5	5.0	16.3	6.3	11.3	2.5	51.3

### 問5. 自社の今後の成長・拡大を期待したい分野（3つまで回答可）

自社の今後の成長・拡大を期待したい分野については、「特にない」が最も多く、33.6%であった。次いで「環境・エネルギー」が31.1%、「地域活性化・町おこし」が16.4%、「海外市場（海外展開、輸出など）」が15.5%であった。

業種別にみると、製造業では「環境・エネルギー」が38.2%で最も多く、次いで「特にない」が28.7%、「海外市場（海外展開、輸出など）」が21.7%と続いた。小売業では「特にない」が43.2%で最も多く4割を超え、次いで「地域活性化・町おこし」が28.4%、「環境・エネルギー」が17.3%と続いた。「環境・エネルギー」は製造業・小売業ともに上位に入り、両業種ともに期待が比較的高い分野となっている。小売業では特に、商店街など町ぐるみで活性化を期待していることが見受けられる。



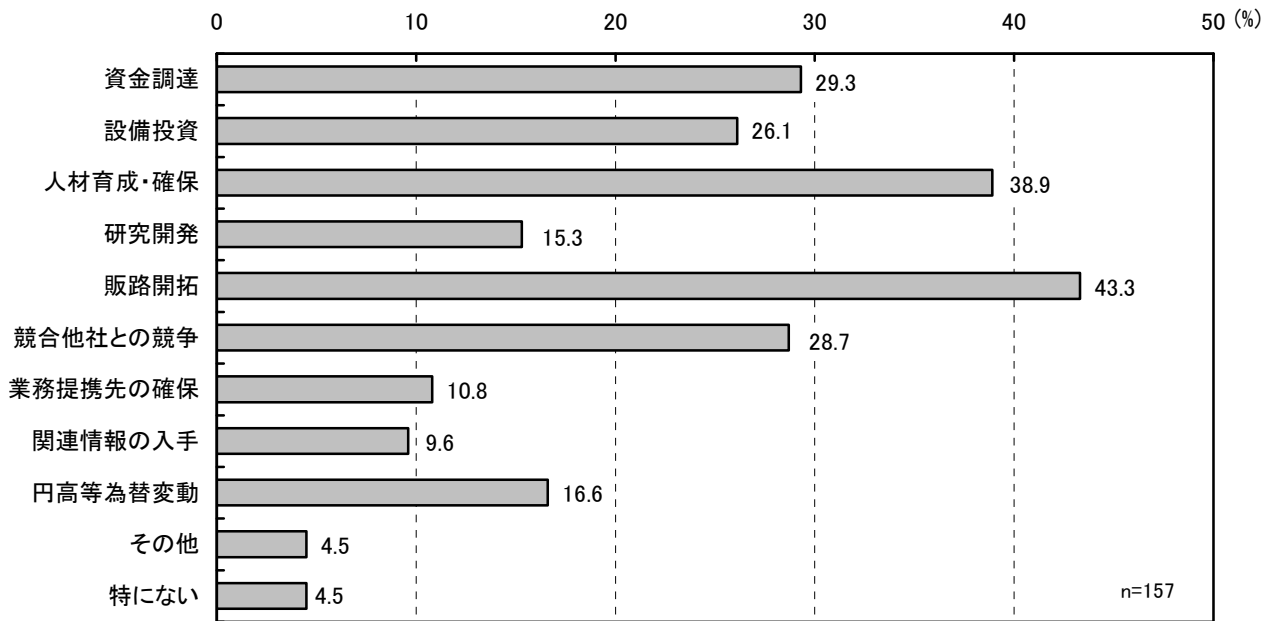
(単位:%)

業種	環境・エネルギー	介護・医療	健康産業 (食品、機器など)	海外市場 (海外展開、輸出など)	外国人向けビジネス (国内需要向け)	IT関連 (情報通信)	農林水産業	地域活性化・町おこし	その他	特にない
全体	31.1	13.0	11.3	15.5	2.1	8.8	2.9	16.4	9.2	33.6
製造業	38.2	16.6	11.5	21.7	0.6	10.2	3.2	10.2	12.1	28.7
小売業	17.3	6.2	11.1	3.7	4.9	6.2	2.5	28.4	3.7	43.2

### 問6. 問5の分野に取り組む上での課題や障害（3つまで回答可）

問5の分野に取り組む上での課題や障害については、「販路開拓」が43.3%と最も多かった。次いで「人材育成・確保」が38.9%、「資金調達」が29.3%であった。

業種別にみると、製造業は「販路開拓」が46.4%と最も多く、次いで「人材育成・確保」が37.5%、「資金調達」が28.6%と全体と同順位で、割合も大きな差異はなかった。小売業では「人材育成・確保」と「競合他社との競争」がともに42.2%で最も多く、次いで「販路開拓」35.6%、「資金調達」31.1%と続いた。製造業・小売業ごとに順位の差はあるが、全体の上位3項目は共通の課題となっており、今後の成長・拡大に向けて支援が求められていることがうかがえる。



(単位: %)

	資金調達	設備投資	人材育成・確保	研究開発	販路開拓	競合他社との競争	業務提携先の確保	関連情報の入手	円高等為替変動	その他	特にない
全体	29.3	26.1	38.9	15.3	43.3	28.7	10.8	9.6	16.6	4.5	4.5
製造業	28.6	25.9	37.5	19.6	46.4	23.2	12.5	10.7	23.2	3.6	3.6
小売業	31.1	26.7	42.2	4.4	35.6	42.2	6.7	6.7	0.0	6.7	6.7

製造業 大田区 中小企業景況調査 比較表

平成24年1月～3月期

[今期の景況]

		全体	輸送用 機械器具	電気機械器具	一般機械 器具、金型	金属製品、 建設用金属、 金属プレス	精密機械器具
業況		-26	1	-40	-20	-14	-52
売上額		-15	-9	-15	-14	-8	-44
受注残		-19	-13	-13	-22	-5	-51
収益		-18	-14	-22	-12	-3	-49
販売価格		-21	-17	-20	-27	-10	-39
原材料価格		38	15	43	36	37	45
原材料在庫		13	12	17	12	14	18
資金繰り		-20	-14	-22	-29	-16	-25
雇用	残業時間	-20	-38	-23	-4	-17	-25
	人手	4	12	11	-10	14	4
同期比	売上額	-9	16	-28	3	0	-40
	収益	-17	8	-42	-7	-3	-44
経営上の 問題点	①売上の停滞・減少	65	52	64	55	73	76
	②利幅の縮小	27	28	22	24	30	28
	③同業者間の競争の激化	20	20	31	24	13	16
	④原材料高	19	16	19	7	30	24
	⑤販売納入先からの値下げ要請	19	24	17	17	13	24
重点 経営 施策	①販路を広げる	59	50	56	62	66	64
	②経費を節減する	57	71	61	45	66	52
	③新製品・技術を開発する	28	21	36	21	10	56
	④情報力を強化する	20	21	11	24	35	12
	⑤人材を確保する	15	4	17	28	10	4
借入の難易度		-1	-16	3	-17	0	0

[来期の景況見通し]

業況		-23	10	-16	-37	-26	-42
売上額		-19	8	-9	-37	-30	-16
受注残		-16	6	0	-38	-20	-24
収益		-23	19	-8	-41	-28	-31
販売価格		-19	-10	-12	-29	-5	-38
原材料価格		28	17	26	29	19	46
原材料在庫		10	9	20	11	9	9
資金繰り		-27	2	-33	-28	-31	-35
雇用	残業時間	-24	-17	-34	-18	-24	-25
	人手	6	16	8	0	10	13

\* 単純D・Iを表示している項目。雇用面、前年同期比、借入難易度

\* 企業割合(%)を表示している項目。経営上の問題点、重点経営施策

小 売 業

大田区 中小企業景況調査 比較表

平成24年1月～3月期

[今期の景況]

		全体	家具、家電	飲食店	飲食料品	衣服、身の回り品
業況		-55	-31	-75	-64	-70
売上額		-36	8	-72	-65	-64
収益		-42	-2	-76	-57	-47
販売価格		-23	-32	-50	9	-58
仕入価格		8	-2	18	33	-20
在庫		6	-8	-6	19	27
資金繰り		-39	-36	-46	-37	-63
雇用	残業時間	-16	0	-36	-17	-27
	人手	-21	0	-29	-33	-14
同期比	売上額	-32	-25	-64	-56	-63
	収益	-41	-40	-57	-61	-63
	販売価格	-26	-60	-36	-11	-44
経営上の問題点	①売上の停滞・減少	68	63	79	72	81
	②同業者間の競争の激化	30	13	36	33	19
	③利幅の縮小	24	25	21	17	25
	④大型店との競争の激化	18	44	7	6	25
	⑤店舗の狭小・老朽化	17	19	7	11	19
重点経営施策	①経費を節減する	53	63	71	77	25
	②品揃えを改善する	29	13	21	29	50
	③宣伝・広報を強化する	25	25	43	18	25
	④売れ筋商品を取扱う	25	13	7	24	44
	⑤教育訓練を強化する	18	25	21	18	19
借入の難易度		-15	44	0	-21	12

[来期の景況見通し]

業況		-51	-45	-65	-54	-63
売上額		-45	-46	-67	-47	-51
収益		-45	-45	-81	-26	-38
販売価格		-24	-36	-43	1	-48
仕入価格		2	-12	22	18	-21
在庫		-5	-15	-19	7	12
資金繰り		-39	-43	-46	-37	-52
雇用	残業時間	-10	-7	-29	0	-27
	人手	-21	0	-21	-33	-14

\* 単純D・Iを表示している項目。雇用面、前年同期比、借入難易度

\* 企業割合(%)を表示している項目。経営上の問題点、重点経営施策

製造業  
地域名:大田区  
中分類:業種合計

中小企業景況調査 転記表 NO.1

24年1~3月期

1/2

注:各項目の右側は、前期調査における予想(計画)値です。

項目	調査期		22年		22年		23年		23年		23年		24年		対 前期比	24年 4~6月期			
	4~6月期	7~9月期	10~12月期	1~3月期	4~6月期	7~9月期	10~12月期	1~3月期	4~6月期	7~9月期	10~12月期	1~3月期							
業況	良い	22.0	15.0	20.0	19.9	20.2	16.8	29.9	8.4	18.9	9.3	17.8	9.7	22.5	17.8	23.9	15.6		20.9
	普通	14.5	17.3	18.4	15.8	22.0	16.8	17.4	18.7	25.7	19.1	28.2	29.1	28.8	23.3	28.8	28.8		27.0
	悪い	63.6	67.6	61.6	64.3	57.7	66.3	52.7	72.9	55.4	71.6	54.0	61.1	48.8	58.9	47.2	55.6		52.1
	D-I	-41.6	-52.6	-41.6	-44.4	-37.5	-49.5	-22.8	-64.5	-36.6	-62.3	-36.2	-51.4	-26.3	-41.1	-23.3	-40.0		-31.3
	修正値	-35.9	-48.9	-39.9	-41.6	-34.5	-49.8	-22.5	-56.9	-28.9	-56.4	-34.3	-49.7	-24.5	-45.9	-25.8	-29.8	-1.0	-22.8
	傾向値	-65.4		-55.7		-47.4		-39.5		-35.3		-34.0		-31.9		-30.5			
売上額	増加	37.0	22.4	28.0	27.2	25.0	16.5	34.2	12.0	22.7	8.2	27.0	18.2	28.9	19.0	26.8	19.5		17.7
	変らず	21.4	30.6	29.1	30.1	26.8	31.3	21.2	24.7	25.6	26.6	25.8	30.7	30.8	27.0	29.3	24.5		34.8
	減少	41.6	47.1	42.9	42.8	48.2	52.2	44.6	63.3	51.7	65.2	47.2	51.1	40.3	54.0	43.9	56.0		47.6
	D-I	-4.6	-24.7	-14.8	-15.6	-23.2	-35.7	-10.3	-51.2	-29.0	-57.1	-20.2	-33.0	-11.3	-35.0	-17.1	-36.5		-29.9
	修正値	2.8	-20.9	-17.2	-17.6	-22.1	-38.4	-7.8	-38.8	-21.1	-51.1	-23.7	-37.4	-11.9	-40.3	-15.1	-21.6	-3.0	-19.2
	傾向値	-24.6		-15.6		-13.5		-13.0		-16.3		-20.0		-19.2		-18.6			
受注残	増加	25.4	22.7	25.7	24.9	22.3	15.4	23.1	10.3	16.7	11.5	20.6	19.4	20.4	18.6	23.6	15.9		18.6
	変らず	31.8	31.4	29.5	34.7	27.7	35.2	30.2	29.7	32.8	25.3	33.1	32.6	36.3	32.9	34.2	34.4		37.9
	減少	42.8	45.9	44.8	40.5	50.0	49.5	46.7	60.0	50.6	63.2	46.3	48.0	43.3	48.4	42.2	49.7		43.5
	D-I	-17.3	-23.3	-19.1	-15.6	-27.7	-34.1	-23.6	-49.7	-33.9	-51.6	-25.6	-28.6	-22.9	-29.8	-18.6	-33.8		-24.8
	修正値	-8.6	-20.4	-20.4	-17.6	-25.2	-36.4	-22.4	-37.1	-24.8	-46.3	-28.7	-33.5	-21.9	-35.5	-18.5	-18.1	3.0	-16.4
	傾向値	-32.0		-23.2		-20.3		-20.7		-24.0		-26.9		-27.1		-25.9			
収益	増加	27.7	20.9	23.9	21.4	23.8	13.7	26.1	9.6	20.0	8.7	19.1	14.2	23.9	16.8	28.7	14.5		17.7
	変らず	25.4	29.7	31.0	34.1	26.8	30.6	22.8	26.3	23.4	22.8	27.8	31.3	26.4	29.8	23.8	29.6		32.3
	減少	46.8	49.4	45.1	44.5	49.4	55.7	51.1	64.1	56.6	68.5	53.1	54.5	49.7	53.4	47.6	56.0		50.0
	D-I	-19.1	-28.5	-21.2	-23.1	-25.6	-42.1	-25.0	-54.5	-36.6	-59.8	-34.0	-40.3	-25.8	-36.6	-18.9	-41.5		-32.3
	修正値	-12.1	-24.2	-23.8	-24.0	-25.3	-44.9	-20.9	-43.3	-28.9	-54.1	-36.6	-42.9	-26.6	-43.3	-17.5	-28.2	9.0	-23.1
	傾向値	-33.3		-25.5		-23.1		-22.4		-24.9		-28.7		-30.3		-29.6			
価格動向	販売価格	-28.1	-26.2	-30.4	-24.6	-25.9	-33.3	-17.5	-32.5	-24.6	-22.4	-22.4	-23.4	-23.3	-24.2	-22.6	-24.5		-22.0
	// 修正値	-24.8	-23.6	-31.4	-23.9	-23.9	-34.0	-15.2	-27.3	-21.1	-19.7	-23.4	-23.5	-20.9	-25.0	-20.7	-18.5	0.0	-19.3
	// 傾向値	-32.8		-30.8		-29.2		-26.8		-25.0		-23.6		-22.3		-22.6			
	原材料価格	40.7	47.4	40.3	47.7	34.9	28.2	44.2	28.9	46.6	55.8	31.9	46.6	20.6	22.1	30.7	16.9		28.8
	// 修正値	33.1	49.9	33.0	35.8	41.5	24.4	51.1	40.7	38.7	54.6	27.0	34.4	29.8	22.5	37.7	31.8	8.0	28.0
	// 傾向値	17.7		27.3		33.6		38.3		40.8		40.5		37.6		34.1			
在庫・資金	原材料在庫数量	9.5	4.7	3.9	9.6	11.9	0.0	2.8	10.0	4.1	2.2	12.7	0.6	13.1	8.9	13.8	11.2		9.4
	// 修正値	10.9	4.4	4.0	10.5	9.7	-0.1	2.6	7.5	5.6	3.0	11.7	2.0	9.7	8.0	13.2	7.3	4.0	10.0
	資金繰り	-23.3	-37.8	-31.9	-31.6	-25.7	-36.8	-28.2	-40.6	-30.3	-42.0	-29.2	-33.1	-33.3	-35.4	-25.3	-40.3		-32.7
	// 修正値	-22.5	-35.0	-30.6	-29.6	-26.0	-37.1	-22.7	-36.9	-29.3	-37.6	-28.4	-32.0	-33.1	-36.4	-20.1	-36.3	13.0	-27.3
前年同期	売上額	11.7		3.8		6.0		-1.7		-14.4		-17.0		-12.3		-9.3			
	収益	3.5		-6.0		-1.2		-12.6		-22.0		-30.0		-21.3		-17.3			
雇用	残業時間	-8.2	-13.3	-16.6	-14.8	-7.2	-20.0	-12.2	-24.2	-24.9	-35.0	-16.6	-28.3	-12.1	-21.0	-19.9	-24.8		-23.7
	人手	16.3	17.3	12.0	16.3	1.8	12.6	1.1	13.9	10.9	12.6	7.4	13.7	2.5	13.6	4.4	8.9		6.3
借入金	借入難易度	-10.8		-15.7		-10.6		-15.4		-12.6		-7.0		-11.8		-0.6			
	借入をした(%)	35.5	20.9	42.3	18.4	36.9	20.8	34.3	22.8	26.3	25.7	38.9	18.3	36.8	19.6	24.5	18.1		16.4
	借入をしない(%)	64.5	79.1	57.7	81.6	63.1	79.2	65.7	77.2	73.7	74.3	61.1	81.7	63.2	80.4	75.5	81.9		83.6
有効回答事業所数		173		185		168		185		176		166		162		165			

注:各項目の右側は、前期調査における予想(計画)値です。

項目	調査期		22年		22年		22年		23年		23年		23年		23年		24年		対 前期比	24年 4~6月期
	4~6月期	7~9月期	7~9月期	10~12月期	10~12月期	1~3月期	4~6月期	7~9月期	7~9月期	10~12月期	10~12月期	1~3月期	1~3月期	1~3月期	4~6月期	4~6月期				
設備投資動向(%)	現在の設備	2.9	0.0	-2.2	1.7	-9.1	-2.2	-4.4	-7.4	-4.6	3.9	-5.0	-5.2	-8.6	-5.1	-5.7	-5.3			-2.5
	実施した	22.3	24.8	19.1	20.9	25.3	17.1	27.8	30.6	21.4	20.7	31.8	20.7	25.5	24.7	25.0	30.1			27.6
	事業用地・建物	2.4	2.4	0.6	1.8	2.5	3.4	2.8	3.1	3.6	2.4	3.2	1.2	1.3	2.7	1.9	4.1			3.3
	機械・設備の新・増設	6.6	9.1	5.6	5.5	8.0	5.1	8.5	10.6	4.2	10.1	7.8	9.1	9.4	5.5	9.0	10.3			14.5
	機械・設備の更改	6.6	11.5	4.5	10.4	11.7	6.9	6.3	19.4	6.0	8.3	9.7	6.1	8.7	11.0	11.5	16.4			13.8
	事務機器	7.8	9.7	11.2	7.4	13.0	6.9	13.1	8.1	11.9	7.1	12.3	7.9	8.7	7.5	10.9	11.6			8.6
	車両	5.4	7.3	6.7	6.7	7.4	2.9	8.5	4.4	5.4	5.3	9.7	6.1	6.7	2.7	6.4	4.8			4.6
	その他	1.2	1.2	0.0	1.2	0.0	0.0	0.6	0.0	1.2	0.6	0.6	0.0	1.3	0.7	0.0	0.7			0.0
	実施しない	77.7	75.2	80.9	79.1	74.7	82.9	72.2	69.4	78.6	79.3	68.2	79.3	74.5	75.3	75.0	69.9			72.4
経営上の問題点(%)	売上の停滞・減少	74.3		72.7		75.8		72.1		65.9		70.8		66.9		65.4				
	人手不足	4.1		3.8		5.5		6.0		2.9		4.3		8.3		6.2				
	大手企業との競争の激化	2.3		1.1		3.0		3.3		3.5		0.0		3.2		1.9				
	同業者間の競争の激化	26.9		31.1		27.3		21.3		20.8		23.0		20.4		20.4				
	親企業による選別の強化	8.2		7.1		5.5		6.0		8.7		6.8		10.8		8.6				
	輸入製品との競争の激化	5.8		6.6		6.7		5.5		5.8		5.0		5.1		5.6				
	合理化の不足	7.0		4.9		4.8		4.4		4.0		6.2		5.1		6.2				
	利幅の縮小	35.1		35.0		33.3		26.8		30.1		29.2		30.6		26.5				
	原材料高	24.6		20.8		20.0		33.3		31.8		24.2		17.2		18.5				
	販売納入先からの値下げ要請	22.2		21.3		23.0		12.6		13.9		16.8		20.4		18.5				
	仕入先からの値上げ要請	8.8		4.9		3.0		7.7		9.8		6.2		7.0		8.6				
	人件費の増加	1.8		4.9		8.5		6.6		5.2		4.3		5.7		6.2				
	人件費以外の経費の増加	4.1		3.8		4.8		5.5		5.2		5.6		3.2		9.3				
	工場・機械の狭小・老朽化	15.8		14.8		12.7		17.5		19.7		11.8		17.8		17.9				
	生産能力の不足	5.8		5.5		4.2		4.9		4.6		5.0		5.7		3.7				
	下請の確保難	4.1		1.6		4.2		3.8		2.3		4.3		1.3		5.6				
	代金回収の悪化	0.0		1.1		0.6		1.6		1.7		1.2		1.3		0.0				
	地価の高騰	0.0		0.0		0.6		0.5		0.0		0.0		0.0		0.0				
	天候の不順	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.6		0.0				
	地場産業の衰退	2.3		1.6		3.6		1.1		4.0		5.0		3.2		5.6				
大手企業・工場の縮小・撤退	9.9		7.1		7.3		7.1		6.4		6.2		11.5		8.0					
為替レートの変動	2.9		9.8		7.3		4.9		4.0		5.0		4.5		4.3					
その他	3.5		1.6		3.0		8.2		2.3		1.9		6.4		3.1					
問題なし	1.2		0.5		3.0		1.6		4.0		3.1		1.9		1.2					
重点経営施策(%)	販路を広げる	60.5		61.2		58.2		55.7		50.9		49.4		61.8		59.4				
	経費を節減する	61.6		56.3		60.0		61.7		61.4		56.9		58.0		56.9				
	情報を強化する	21.5		25.7		21.8		20.8		26.3		21.9		22.3		20.0				
	新製品・技術を開発する	33.1		29.5		32.7		24.6		26.9		25.0		28.0		28.1				
	不採算部門を整理・縮小する	9.3		8.2		6.7		8.2		5.8		5.6		5.1		6.3				
	提携先を見つける	6.4		6.0		6.1		7.7		7.6		6.9		5.1		9.4				
	機械化を推進する	4.1		6.6		10.9		4.4		5.3		3.8		7.6		8.8				
	人材を確保する	13.4		14.2		16.4		18.0		18.7		15.0		15.9		15.0				
	パート化を図る	0.6		4.4		3.6		2.7		2.9		5.0		5.1		5.0				
	教育訓練を強化する	12.8		12.0		17.0		10.9		10.5		13.1		10.2		13.8				
	労働条件を改善する	3.5		2.2		4.8		2.7		0.0		1.3		1.9		1.3				
	工場・機械を増設・移転する	5.2		3.8		5.5		3.8		5.3		5.6		7.6		6.9				
	不動産の有効活用を図る	2.3		1.6		1.8		2.7		2.3		2.5		2.5		3.8				
その他	0.6		1.1		1.8		3.3		0.6		1.9		3.2		0.0					
特になし	5.8		5.5		4.8		7.1		9.4		8.8		7.6		6.3					
有効回答事業所数		173		185		168		185		176		166		162		165				



小売業  
 地域名:大田区  
 中分類:業種合計

中小企業景況調査 転記表 NO. 1

24年1~3月期

1/2

注:各項目の右側は、前期調査における予想(計画)値です。

項目	調査期		22年		22年		22年		23年		23年		23年		23年		24年		対 前期比	24年		
			4~6月期		7~9月期		10~12月期		1~3月期		4~6月期		7~9月期		10~12月期		1~3月期			4~6月期		
業況	良い	17.5	7.6	13.2	10.5	11.0	9.0	13.4	8.3	14.6	8.5	13.7	10.3	6.7	9.6	11.8	5.6				11.5	
	普通	13.8	13.6	10.5	21.1	19.2	23.1	8.5	25.0	12.4	15.9	23.2	16.1	14.4	20.2	20.0	21.1				23.0	
	悪い	68.8	78.8	76.3	68.4	69.9	67.9	78.0	66.7	73.0	75.6	63.2	73.6	78.9	70.2	68.2	73.3					65.5
	D-I	-51.3	-71.2	-63.2	-57.9	-58.9	-59.0	-64.6	-58.3	-58.4	-67.1	-49.5	-63.2	-72.2	-60.6	-56.5	-67.8					-54.0
	修正値	-52.3	-70.0	-60.4	-57.0	-55.8	-61.4	-62.7	-50.4	-59.6	-64.0	-45.6	-61.6	-68.7	-62.5	-54.7	-61.7	14.0				-50.6
	傾向値	-71.6		-67.1		-62.6		-59.6		-60.4		-59.6		-59.5		-60.2						
売上額	増加	24.4	7.5	17.9	15.8	21.9	16.7	13.4	12.5	18.9	9.8	24.2	18.2	15.6	19.1	16.1	6.7				17.2	
	変らず	14.1	23.9	11.5	23.7	12.3	19.2	18.3	18.1	14.4	23.2	16.8	18.2	20.0	18.1	20.7	28.9					17.2
	減少	61.5	68.7	70.5	60.5	65.8	64.1	68.3	69.4	66.7	67.1	58.9	63.6	64.4	62.8	63.2	64.4					65.5
	D-I	-37.2	-61.2	-52.6	-44.7	-43.8	-47.4	-54.9	-56.9	-47.8	-57.3	-34.7	-45.5	-48.9	-43.6	-47.1	-57.8					-48.3
	修正値	-41.9	-60.2	-52.0	-44.5	-43.5	-52.8	-45.7	-44.2	-51.8	-55.0	-34.9	-46.1	-48.7	-50.4	-36.2	-43.4	13.0				-44.9
	傾向値	-64.3		-58.1		-53.6		-49.1		-48.4		-47.5		-45.9		-45.6						
収益	増加	18.2	6.0	15.4	15.8	19.2	15.4	11.0	11.0	18.9	11.1	20.2	16.9	10.0	14.0	10.3	5.6					14.9
	変らず	18.2	17.9	10.3	25.0	20.5	20.5	12.2	23.3	13.3	19.8	18.1	18.0	21.1	21.5	23.0	25.8					19.5
	減少	63.6	76.1	74.4	59.2	60.3	64.1	76.8	65.8	67.8	69.1	61.7	65.2	68.9	64.5	66.7	68.5					65.5
	D-I	-45.5	-70.1	-59.0	-43.4	-41.1	-48.7	-65.9	-54.8	-48.9	-58.0	-41.5	-48.3	-58.9	-50.5	-56.3	-62.9					-50.6
	修正値	-49.2	-68.2	-57.3	-42.7	-43.6	-54.6	-56.2	-44.3	-53.6	-53.5	-39.0	-48.8	-60.5	-56.2	-41.6	-52.1	19.0				-44.8
	傾向値	-67.6		-62.6		-57.8		-53.6		-53.3		-51.5		-51.6		-52.6						
価格動向	販売価格	-46.2	-44.8	-45.5	-42.7	-30.1	-45.5	-23.2	-41.1	-26.7	-22.0	-31.6	-21.1	-32.6	-33.3	-26.4	-46.1					-21.8
	〃 修正値	-48.0	-43.0	-45.2	-42.2	-27.5	-47.3	-19.3	-33.8	-28.6	-22.6	-30.2	-22.0	-28.7	-34.7	-23.1	-36.1	6.0				-24.1
	〃 傾向値	-50.5		-51.0		-46.5		-39.6		-33.8		-29.6		-28.2		-28.9						
	仕入価格	-28.6	-15.2	-23.1	-22.7	-5.5	-15.4	18.3	-13.7	9.1	22.2	2.1	14.8	0.0	4.3	4.6	-6.7					0.0
	〃 修正値	-30.8	-8.2	-23.7	-24.5	-5.1	-19.1	22.3	-9.9	4.8	24.6	1.9	9.9	2.2	0.8	8.2	0.6	6.0				2.1
	〃 傾向値	-21.7		-24.1		-21.8		-14.2		-5.0		2.9		6.7		5.7						
在庫・資金	在庫数量	0.0	1.5	9.1	-6.5	13.9	9.1	1.2	6.9	5.7	-14.6	1.1	8.0	6.8	7.5	3.4	1.1					-8.0
	〃 修正値	2.4	0.7	8.5	-1.8	9.9	7.1	3.1	5.1	8.1	-13.7	0.3	11.7	2.4	3.9	5.6	-1.1	4.0				-4.7
	資金繰り	-46.8	-58.5	-52.6	-47.4	-38.9	-52.6	-44.3	-47.2	-51.7	-45.6	-43.0	-52.8	-54.7	-47.3	-41.9	-57.0					-41.9
	〃 修正値	-46.8	-55.0	-53.6	-49.0	-36.7	-52.2	-40.1	-43.7	-50.3	-40.8	-43.8	-53.3	-52.2	-46.4	-39.0	-53.3	13.0				-38.9
前年同期	売上額	-44.8		-53.8		-44.9		-38.0		-45.7		-40.2		-50.6		-32.2						
	収益	-56.7		-62.8		-43.5		-55.7		-48.1		-45.3		-60.2		-40.7						
	販売価格	-51.5		-47.4		-44.8		-26.9		-30.4		-36.1		-36.9		-25.6						
雇用	残業時間	-12.9	-24.6	-19.7	-12.9	-13.2	-15.8	-36.4	-11.8	-20.3	-18.2	-16.9	-16.5	-20.2	-16.9	-15.7	-20.2					-9.6
	人手	-9.5	-3.1	-6.5	-9.5	-5.6	-9.1	-5.1	-8.5	-1.3	-7.7	-12.0	-3.9	-4.8	-15.7	-21.4	-8.3					-21.4
借入金	借入難易度	-14.5		-16.0		-6.2		-12.2		-22.7		-16.5		-11.0		-14.5						
	借入をした(%)	23.4	28.8	28.2	16.1	26.1	21.6	30.4	12.7	24.7	19.2	40.0	17.3	28.2	23.7	26.5	14.9					14.3
	借入をしない(%)	76.6	71.2	71.8	83.9	73.9	78.4	69.6	87.3	75.3	80.8	60.0	82.7	71.8	76.3	73.5	85.1					85.7
有効回答事業所数		80		79		73		82		90		95		90		87						

小売業  
地域名:大田区  
中分類:業種合計

中小企業景況調査 転記表 NO.2

24年1~3月期

2/2

注:各項目の右側は、前期調査における予想(計画)値です。

項目	調査期		22年		22年		23年		23年		23年		24年		対 前期比	24年 4~6月期			
	4~6月期	7~9月期	4~6月期	7~9月期	10~12月期	10~12月期	1~3月期	4~6月期	7~9月期	10~12月期	10~12月期	1~3月期	4~6月期						
設備 投資 動 向 内 容 ( %)	現在の設備	-15.9	-27.0	-26.3	-14.3	-15.7	-25.0	-16.5	-17.1	-18.2	-12.7	-22.2	-19.5	-15.7	-22.0	-26.5	-16.9		-27.7
	実施した	14.5	26.7	26.7	19.7	17.5	15.9	20.3	20.6	30.8	17.9	23.5	30.8	22.0	15.4	18.1	17.3		17.1
	事業用地・建物	1.6	3.3	8.0	4.9	1.6	8.7	1.3	3.2	2.6	1.3	2.5	2.6	2.4	0.0	3.6	2.5		1.2
	機械・設備の新・増設	4.8	8.3	5.3	4.9	4.8	0.0	3.8	6.3	7.7	5.1	7.4	7.7	3.7	2.6	3.6	1.2		7.3
	機械・設備の更改	3.2	11.7	4.0	6.6	4.8	1.4	7.6	7.9	9.0	9.0	7.4	6.4	7.3	3.8	4.8	3.7		6.1
	事務機器	6.5	6.7	13.3	4.9	7.9	8.7	12.7	4.8	10.3	9.0	8.6	11.5	13.4	2.6	8.4	8.6		2.4
	車両	3.2	6.7	13.3	6.6	3.2	5.8	3.8	7.9	11.5	3.8	4.9	14.1	6.1	9.0	4.8	3.7		3.7
	その他	3.2	0.0	2.7	0.0	1.6	1.4	0.0	0.0	3.8	1.3	3.7	3.8	1.2	2.6	2.4	1.2		2.4
	実施しない	85.5	73.3	73.3	80.3	82.5	84.1	79.7	79.4	69.2	82.1	76.5	69.2	78.0	84.6	81.9	82.7		82.9
経営上の 問題点 ( %)	売上の停滞・減少	75.8		76.6		76.1		73.8		68.8		73.6		70.6		67.8			
	人手不足	4.5		5.2		8.5		6.3		6.3		9.2		7.1		6.9			
	同業者間の競争の激化	21.2		24.7		23.9		28.8		27.5		19.5		23.5		29.9			
	大型店との競争の激化	19.7		14.3		18.3		11.3		17.5		16.1		18.8		18.4			
	輸入製品との競争の激化	0.0		0.0		1.4		1.3		1.3		2.3		2.4		1.1			
	利幅の縮小	24.2		18.2		19.7		27.5		31.3		26.4		20.0		24.1			
	取扱商品の陳腐化	3.0		7.8		4.2		3.8		6.3		5.7		9.4		5.7			
	販売商品の不足	6.1		1.3		2.8		11.3		6.3		5.7		8.2		2.3			
	販売納入先からの値下げ要請	0.0		0.0		2.8		1.3		2.5		3.4		2.4		0.0			
	仕入先からの値上げ要請	6.1		2.6		9.9		18.8		15.0		5.7		5.9		6.9			
	人件費の増加	9.1		5.2		11.3		10.0		5.0		9.2		10.6		5.7			
	人件費以外の経費の増加	7.6		9.1		2.8		5.0		5.0		8.0		5.9		6.9			
	取引先の減少	9.1		19.5		18.3		8.8		22.5		18.4		16.5		16.1			
	商圏人口の減少	3.0		5.2		2.8		5.0		7.5		5.7		3.5		4.6			
	商店街の集客力の低下	36.4		29.9		39.4		16.3		15.0		24.1		23.5		16.1			
	店舗の狭小・老朽化	10.6		11.7		8.5		5.0		3.8		10.3		8.2		17.2			
	代金回収の悪化	4.5		3.9		1.4		3.8		1.3		2.3		0.0		0.0			
	地価の高騰	3.0		1.3		0.0		0.0		0.0		1.1		1.2		0.0			
	駐車場の確保難	0.0		2.6		1.4		1.3		0.0		1.1		2.4		1.1			
	天候の不順	22.7		10.4		7.0		2.5		5.0		8.0		4.7		11.5			
	地場産業の衰退	3.0		3.9		2.8		3.8		6.3		3.4		5.9		2.3			
	大手企業・工場の縮小・撤退	1.5		0.0		1.4		2.5		3.8		3.4		4.7		5.7			
	その他	0.0		3.9		0.0		6.3		5.0		2.3		2.4		2.3			
	問題なし	0.0		1.3		1.4		1.3		0.0		3.4		1.2		4.6			
重点 経営 施策 ( %)	品揃えを改善する	42.4		26.3		31.4		27.3		23.4		35.7		26.2		29.4			
	経費を節減する	57.6		56.6		54.3		63.6		63.6		54.8		50.0		52.9			
	宣伝・広報を強化する	22.7		26.3		22.9		14.3		23.4		21.4		15.5		24.7			
	新しい事業を始める	7.6		7.9		5.7		16.9		10.4		8.3		11.9		5.9			
	店舗・設備を改装する	7.6		7.9		10.0		5.2		9.1		8.3		8.3		14.1			
	仕入先を開拓・選別する	16.7		22.4		20.0		19.5		15.6		14.3		4.8		9.4			
	営業時間を延長する	1.5		1.3		0.0		2.6		2.6		2.4		1.2		1.2			
	売れ筋商品を取扱う	27.3		18.4		24.3		22.1		24.7		21.4		20.2		24.7			
	商店街事業を活性化させる	15.2		14.5		15.7		10.4		10.4		11.9		8.3		10.6			
	機械化を推進する	3.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		1.2			
	人材を確保する	9.1		6.6		7.1		6.5		11.7		8.3		10.7		15.3			
	パート化を図る	4.5		7.9		1.4		3.9		5.2		7.1		6.0		2.4			
	教育訓練を強化する	10.6		10.5		8.6		19.5		18.2		20.2		15.5		17.6			
	輸入品の取扱いを増やす	1.5		0.0		0.0		0.0		0.0		2.4		0.0		1.2			
	不動産の有効活用を図る	4.5		2.6		4.3		1.3		1.3		3.6		3.6		3.5			
	その他	3.0		3.9		7.1		5.2		1.3		4.8		2.4		0.0			
	特になし	9.1		9.2		1.4		5.2		3.9		4.8		11.9		8.2			
有効回答事業所数		80		79		73		82		90		95		90		87			

## 調査の概要

1. 調査時期 平成 24 年 4 月
2. 調査方法 郵送アンケート調査
3. 調査の対象と回収状況

	調査対象事業所数	有効回答事業所数
製 造 業	250	165
小 売 業	190	87
合 計	440	252

大田区産業経済部産業振興課  
〒144-0035 東京都大田区南蒲田一丁目 20 番 20 号  
TEL 03(3733)6181